

(掲載期間：平成29年3月1日～平成29年4月30日)

目次

◇平成28年度上越教育大学学位記授与式……………1	◇人 事……………16
■学長告辞	■役員等紹介
◇平成28年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式……………4	■人事異動
■学長告辞	■学内委員会委員等
◇平成29年度上越教育大学大学院入学式……………6	◇一般通報事項……………56
■学長告辞	■役員会
◇平成29年度上越教育大学入学式……………8	■経営協議会
■学長告辞	■教育研究評議会
◇学 事……………11	■教授会
■大学院入試（後期募集）	■平成28年度上越教育大学国際交流のつどい
■大学院入試（第2次学生募集）	■上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式
■学部一般入試（後期日程）	■退職者永年勤続表彰状授与式
■兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式	■平成29年度図書館案内ツアー
■兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式	■職員の改姓
■学生表彰式	■公開講座・免許法認定公開講座
■平成28年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修	■海外渡航
■デジタル工作機器講習会	◇関係資料……………71
■平成29年度新入生オリエンテーション	◇主要日誌……………74
■情報セキュリティ講演会	
■新入生ノートパソコン準備講習会	
■ロイロノート・スクール講習会	
■平成29年度新入生合宿研修	

平成 28 年度上越教育大学学位記授与式

平成 28 年度の学位記授与式が 3 月 17 日（金）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、国歌演奏、学位記授与、学長告辞、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 佐藤 芳 徳

野に山に春の光があまねく降り注ぎ、吹く風に春の香りを感じ、春興のおもむくままに外出してみたくなる季節となりました。

本日、学位記を授与された 253 名の皆さん、修了誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。また、ご多用のところ、学位記授与式にご臨席賜りましたご来賓の皆様、深く感謝申し上げます。修了生の皆さんが学位を手にすることができたのは、皆さんのたゆまぬ努力に依るものであることは言を俟ちませんが、その努力は、家族、大学教職員、友人、現職の方は、上司、同僚、教育委員会の方々など多くの人たちによって支えられた賜物です。その人たちへの感謝の気持ちを忘れないでいただきたいと思います。

社会の変化が加速し、科学技術の進歩、交通や情報網の発達等で、教育にも大きな改革の波が押し寄せています。人々の価値観の変化や多様化も進み、そのことも教育現場に大きな影響を与えています。これからさらにめまぐるしく変わると予想される社会を子供たちは生き抜いていかなければなりません。子供たちがどのような能力を身につけるかは、教育に委ねられており、教師の責任は重大であると言えます。

先日公表された小・中学校学習指導要領等の改訂のポイントでは、教育基本法、学校教育法などを踏まえ、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することが謳われています。知識の理解の質を高め、資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を通して、「何ができるようになるか」を明確化することが求められています。また、知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むために、すべての教科等を、3つの柱、すなわち知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等で整理することが示されました。また、「主体的・対話的で深い学び」の充実には、習得・活用・探究のバランスを工夫することが重要とされています。

教師には、これまで不易とされてきた教科指導力や学級経営力等に加え、外国語教育、ICTの活用などの新たな課題に対応できる力や、複雑化・多様化する課題に、組織的・協働的に取り組む力が必要とされています。

さて、全ての子供は、一人ひとり異なる個性や能力を持っています。私は湖を研究してきましたが、湖一つひとつが全く異なる形態や機能を有しています。しかし、湖総体としては、一般性や共通性があり調和が取れています。子供も全く同じかと思えます。教育は、子供の将来を考え、

子供一人ひとりの個性や能力を尊重しながら遂行すべきです。全ての子供に輝かしい未来があります。全ての子供に対して、その成長を支援するという気持ちをいつも心に留め、子供の学ぼうとする意欲を引き出してほしいと思います。

本学で学ばれた皆さんは、様々な能力を獲得されたことと思います。それらの能力は、直ちに学校教育現場で役に立つものであり、まさに実践力と申しても過言ではありません。また、多様な課題解決には、顕在能力に加えて潜在能力や教師としての基礎教養も不可欠です。皆さんには、潜在的な能力も十分に培われたものと確信しています。現職の人も新たに教師となる人も、どうか自信を持って教壇に立ってください。

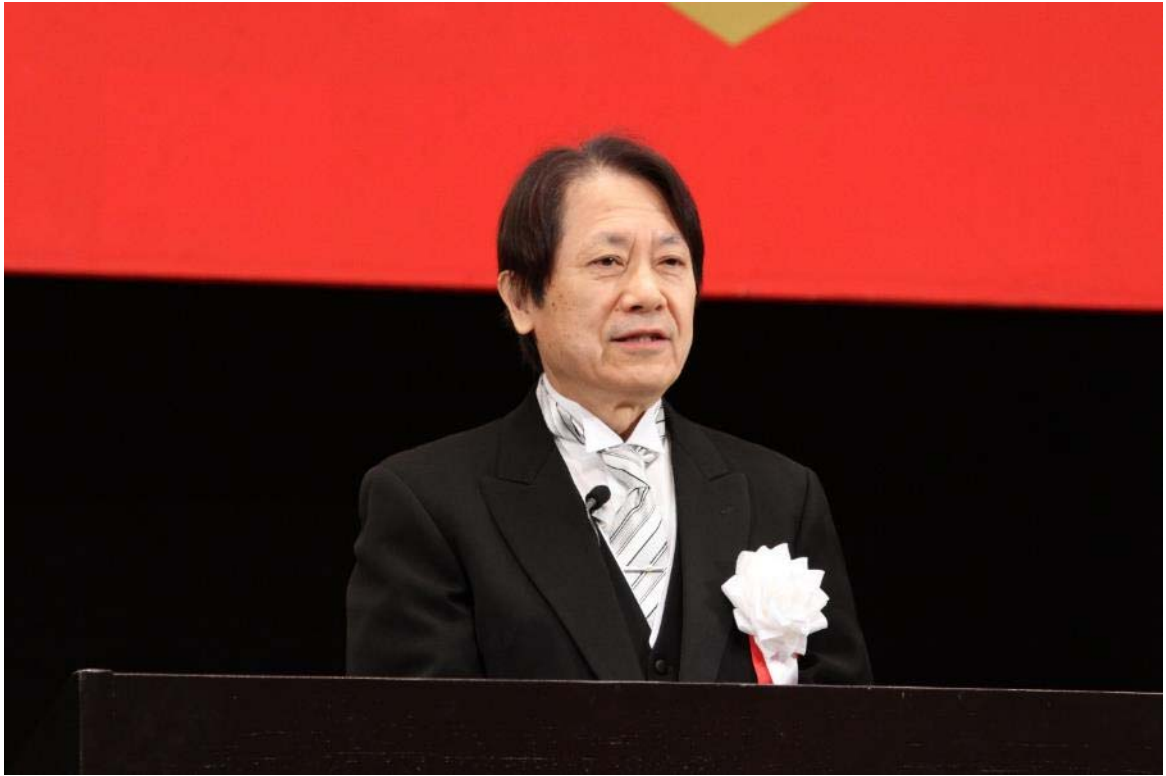
しかしながら、謙虚に自分と向き合うとき、教師として人間としての未熟さや力不足に気づくことでしょう。自分は未熟である、自分の完成度が低いと感じることは、極めて重要です。その気持ちがあつてこそ、さらに学び、人格を磨き、完成度を高めようとする姿勢になります。未完成のままでいい、完成を目指して頑張りたいという姿勢こそが大切です。まさに学び続ける人間像といえましょう。

これから学び続け充実した教師生活を送るために、自分を支えてくれる人の存在は欠かせません。それは、家族であり、友人であり、同僚であり、時には自分が教えている子供たちかもしれません。上越教育大学で出会った教職員、友人、地域の人たちとの絆も大切にしてください。皆さんとの連携を深めるために、大学はホームページの充実や、同窓会の整備など様々なことに取り組んでいます。

ところで、私は大学で30数年間教育に携わってきました。専門は地理です。大学で教え始めてから数年すると、果たして自分は学生に何を教えているのだろうという内的な疑問に悩むようになりました。ある日、ふと気づきました。自分は、地理を通して自分そのものを教えているのだ。それは、生き方と言ってもいいでしょう。考え方と言ってもいいでしょう。まさに自分そのものを教えていると言ってもいいでしょう。そのとき、それまでの疑問が氷解したことをいまでも鮮明に思い出します。

中国の思想家 孔子は論語の中で、人の一生で行っていくべき最も大切なことは何かと問われて、恕（おもいやり）と述べています。昨今のいじめ問題や道徳教育に関する議論を考えますと、孔子の慧眼に改めて敬服いたします。恕と言う言葉を、はなむけと致します。

結びに、健康に十分留意し、子供から周りの人から慕われ尊敬される教師を目指して、たゆまぬ努力を積み重ねていただくようお願いいたします。優れた教師を目指すことは優れた人格の獲得を目指して努力することと全く同じです。それは自らの人生を充実させることとも同義です。皆さんの人生が充実したものとなることを心より祈念し、告辞と致します。



平成 28 年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 28 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 17 日(金)午前 11 時 20 分から本学講堂で举行された。

式は、国歌演奏、卒業証書・学位記授与、学長告辞、卒業生代表答辞、来賓紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 佐藤 芳 徳

水温む季節となり、川面に踊る光に心が弾み、構内を吹き抜ける風に春の香りを感じる頃となりました。

本日、卒業証書を授与された 168 名の皆さん、ご家族の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。また、ご多用のところ、ご臨席賜りましたご来賓の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんが、本日無事に卒業できるのは、皆さんの努力があったことはもちろんですが、家族、友人、教職員、地域の方々など多くの人たちの支援があったことを決して忘れてないでください。

科学技術の進歩、交通や情報網の発達等で、私たちを取り巻く社会は日々急激に変化し、生活様式や人々の価値観にまで影響を及ぼしています。また、社会のグローバル化も指摘され、教育現場にもその対応が求められています。しかし、グローバル化は新たな課題ではなく、これまでの日本の歴史をみても、国外から技術、文化などに限らず様々なものが流入してきました。それとともに常に国際的な視野に立ち日本の将来について考えることが求められてきました。世界の中にある日本を見つめ、国や地域を考え、自分の置かれた立場を考えることは必要不可欠であります。私たちはいつも、日本の国だけではなく、世界の人とともに共同社会を築いていることを自覚する必要があります。そのような中で、教師として一社会人として、変わらないものは何か、変化に対応しなければならないものは何かを、常に考えていかなければなりません。

皆さんは、大学生活の中で、優秀な教師あるいは社会人になるために、大学の授業だけでなく、部活やボランティア、アルバイトなど様々な形で多くの人々と接し、その中から様々なことを学び、身につけてきたことでしょう。それは、皆さんが教壇に立ったとき、社会人となったとき、全て役に立ちます。特に教職の最もすばらしい点は、これまでに獲得した知識・技能、経験、失敗までもが全て日々の教育に生かせる点だと考えています。

本学で学ばれた皆さんは、教師として社会人としての資質能力を十分に身につけていただいたと思います。どうぞ自信を持って、教壇に立ち、あるいは社会に羽ばたいてください。しかし、社会は加速度的に変化し、学校で教える内容や教育技術もめまぐるしく変わっています。

先日公表された学習指導要領等の改訂のポイントでは、知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、3つの柱、1つは知識及び技能、2つ目は思考力、判断力、表現力等、3つ目は学びに向かう力、人間性等、が示されました。また、「主体的・対話的で深い学び」を通して、子供たちが「何ができるようになるか」を明確化することが求められています。主体的・対話的で深い学びの充実には、習得・活用・探求のバランスを工夫することが重要であるとも指摘されています。さらには、時代の変化や自分のおかれた立場において求められる力、新たな課題に対応できる力に加えて、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力も必要とされています。

これらの課題等を克服するためには、常に情報を収集する姿勢を保ち、周囲の人たちとの協力

関係を強固なものにしておかなければなりません。大きな課題に立ち向かわなければならず、途方に暮れることもあるでしょう。そのときこそ、家族や先輩、友人などの支えが必要です。皆さんには、上越で得た友だちや教職員、地域の人たちとの強い絆があるはずです。大学もいつも皆さんの前に開かれて支援する体制を取っています。

これからの教育においては、子供の学ぼうとする力や気持ちを引き出すことができることが重要です。子供の個性や性格を的確に把握し、子供が自ら学ぼうとする意欲を高めることが大きな教育成果につながります。子供を温かく見守るために、教師は人格を磨き、包容力を高める必要があります。子供の学ぼうとする気持ちを引き出すためにも、教師自らが学ぼうとする意欲を持ち続けてください。自分が完成したと感じたとき、あるいはもう新しい力はつけなくても良いと考えたとき、それ以上の進歩はありません。それ以上自分の能力を伸ばすことはできません。自分が未完成であることを自覚し、謙虚な気持ちで学び続ける姿勢が最も重要です。

謙虚に自分の力をみつめたとき、自分の力不足に愕然とするかもしれません。しかし、焦ることはありません。地道に着実に努力を続ければ大丈夫です。大きな課題に直面したときも、まず目の前の課題から焦らず取り組めば、必ず道は開けます。

中国の思想家 孔子は論語の中で、「人の生くるは直し」と述べています。人が生かされているのはその人がまっすぐだから、ということですが、私は、人が生きていくには実直であること、つまり誠実であることが最も大切であると解釈しています。自分の信じた道を一步一步誠実に歩んでください。また、誠実に勝る教育はないと思います。私は、自分のこれまでの恩師を思い出すとき、まじめに実直に教えてくれた先生が最も印象に残っています。ある種の懐かしささえ感じます。「人の生くるは直し」、人は実直に生きるのが一番と言うことを身をもって教えていただきました。

健康に十分注意して、多くの子供たちから慕われ、いつかは先生のようにになりたいと思われる教師となってください。皆さん一人ひとりが自らの手で輝かしい未来の扉を開け、人生を充実したものにしてください。心より祈念し、告辞とします。



平成 29 年度上越教育大学大学院入学式

平成 29 年度の大学院の入学式が 4 月 6 日（木）午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、国歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓紹介、来賓祝辞、役員等紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 川 崎 直 哉

雪解けの水が土に溶け込み、そこから新たな植物の芽生えがある。雪国独特の春の香りを感じる頃となり、日本 3 大夜桜で有名な高田公園の桜も、間もなく見頃を迎える季節となりました。

本日、上越教育大学大学院に入学された 268 名の皆様、御入学おめでとうございます。本学教職員、在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。併せて、ご多用のところご臨席賜りましたご来賓の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、上越教育大学は、現職教員の資質能力の向上と初等教育教員養成という社会的要請に応えるために、設立された新構想の大学です。大学院は修士課程と専門職学位課程いわゆる教職大学院を有し、教師としての専門的知識と優れた実践的指導力を身につけた人材を養成することを目的としており、また、さらに高度な研究を希望する方のために連合大学院博士課程も設置されています。そのため大学院全体の 2 割以上は学校現場の現職の教員が占めており、ここにおられる皆さんの中にも現職の先生方がおられると思います。その皆さんも本日から大学院で学ぶ学生となります。本学で学校現場における実践的課題を解決できる力量を身につけることを強く願っています。一方、大学院全体の 7 割以上はいわゆる学卒者の皆さんであり、本学で 2 年もしくは 3 年間、現職の先生方と一緒に学ぶこととなります。これから教員を目指す皆さんには、その環境は願ってもないものとなりましょう。現職の先生方と日頃から接することにより、大学の授業以外でも、生の学校現場の状況や課題をごく身近に、本音で聞くことができ、それが必ずや皆さんが目指すであろう教員への道に大きな力となってつながることでしょう。

皆さんが本学を修了して教師となり、その時に教える子どもたちが社会で活躍する頃はどのようになっていると思いますか。ロボットや自動運転自動車、A I（人工知能）、I C T（情報通信技術）、I o T（Internet of Things）などいわゆる第 4 次産業革命と呼ばれる最近の科学技術の進歩は目まぐるしいものがあります。このままのペースで世の中が進歩すると、今の子どもたちが活躍する社会は現在では想像ができないほどの社会となると考えられます。そして、そのような社会で生きていくために、子どもたちは、自ら課題を見つけ、答えの決まっていない問いを解決する力を身につける必要があります。本学では子どもたちに対して、その能力を育成することのできる教員の養成を、大きな柱として掲げています。

知識として知っていることと、それを教えることは違います。ましてや高度専門職業人として「教えのプロ」になる教師に求められるものは、極めて高いことを自覚してほしいと思います。例えば、教育学者の佐藤学氏は「専門家として教師を育てる」という著書の中で、次のように述べています。マイナス×マイナスはプラスになることは我々は知っていますが、それらを教師が子どもたちにどのように教え、またそれを受けて、子どもたちがどのように考え、どのように理解するか、その時にどのような反応になるか、それらは子どもによっていろいろな場合があるでしょう。しかし、それらを広く理解して、こどもたちに応じて対処・指導できる力量をもった教師こそ、本当の高度専門職業人と言えます。単に「マイナス×マイナスのときはプラスにする」という計算の仕方を教えるだけでは、子どもたちはその数学的な意味を認識することはできないし、この知識を生活の中に活用することもできません。世界の教科書を調べるとこのマイナス×マイナスの教え方は 20 通り以上あり、教師がそれら全てを認識していれば、子どもの多様なわか

り方を認識するでしょうし、子どもの多様なつまづきにも対応できるでしょう。せめて5通りの教え方を知っていれば、子どもたちにこの計算の数学的意味と現実的意味を理解させることはできるでしょうと述べています。このように高度専門職業人としての教師に求められるものは、極めて高いことを認識してしっかり学んで、引き出しの多い教師になってほしいと思います。

今更申し上げることもありませんが、学ぶということは何も大学の教員から学ぶだけではありません。むしろ、それ以外で学ぶことの方が大きいかもしれません。皆さんがその気になればいくらでも学ぶことができます。上越教育大学の大学院に所属しているときに、人生で一番勉強したなと思えるくらい多くのことを学んで頂くことを期待します。大学としても、教員、カリキュラムなど教職員一丸となって環境を整え、しっかり対応いたします。

さて、いよいよ学園生活が始まります。本学の歴史は、まだ40年に満たないほどで、長くはありませんが、教育界に大きな足跡を残していることは自他共に認めるところです。海と山に近く、自然環境が素晴らしい、四季の移ろいが鮮やかな上越市の学びの館、上越教育大学で、健康に十分留意しながら、充実した大学院生活を送り、皆さんが心に期している目的を達成して、修了されますことを心より祈念し、告辞といたします。



平成 29 年度上越教育大学入学式

平成 29 年度の学部の入学式が 4 月 6 日（木）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、国歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓紹介、来賓祝辞、役員等紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。
学長告辞は次のとおりである。

学 長 告 辞

学長 川 崎 直 哉

雪解けの水が土に溶け込み、そこから新たな植物の芽生えがある。雪国独特の春の香りを感じる頃となり、日本 3 大夜桜で有名な高田公園の桜も、間もなく見頃を迎える季節となりました。

本日、上越教育大学学校教育学部に入學された 170 名の皆様、ご家族の皆様、御入学おめでとうございます。本学教職員、在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。また、ご多用のところご臨席賜りましたご来賓の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、上越教育大学は、現職教員の資質能力の向上と初等教育教員養成という社会的要請に応えるために、設立された新構想の大学です。皆さんがこれから学ぶ学校教育学部の他に、大学院として修士課程と専門職学位課程いわゆる教職大学院を有し、さらに高度な研究を希望する方のために連合大学院博士課程も設置されている、教員養成のための総合大学と言えましょう。皆さんには、この教員養成のための総合大学という恵まれた環境で 4 年間、専門的知識と優れた実践的指導力を身につけた教師を目指して、しっかり学んでほしいと願っています。

先程、現職教員の資質能力の向上というお話をしましたが、実は大学院全体の 2 割以上は学校現場の現職の教師の皆さんが大学院学生として所属しており、そのため、キャンパス内では皆さんよりずっと年上の学生さんを多く見かけることと思います。このことは、これから教員を目指す皆さんには、その環境は願ってもないものとなりましょう。授業で一緒に学ぶ機会は少ないかもしれませんが、それでも現職の先生方と日頃からゼミなどで接することにより、生の学校現場の状況や課題をごく身近に、本音で聞くことができ、それが必ずや皆さんが目指すであろう教員への道に大きな力となつてつながることでしょう。

学校教育現場でも今、大きな変化が起こっています。皆さんもご存じとは思いますが、学習指導要領の改訂では、道徳が特別な教科として導入され、小学校でも外国語活動や外国語（英語）が教科として新しく加わり、その他にも情報活用能力・プログラミング的思考の重要性が指摘され、小学校にもプログラミング教育が導入されることになりそうです。このように、子どもたちが学ぶ内容は常に変化し、新しいことが加わっています。グローバル化の波や第 4 次産業革命と呼ばれている科学技術の目覚ましい進歩は、すでに教育現場にも影響を及ぼしています。教育内容や方法の変化以外にも、現在は副教材の扱いであるタブレット端末による電子教科書（デジタル教科書）も 2020 年度には正式な教科書として導入される見込みであるなど、使用する機器類も含

めて今後も変化し続けることでしょう。そのような中では、教える教師の側も常に学び続けなければなりません。

これからの社会を生きていくために、子どもたちは、自ら課題を見つけ、答えの決まっていない問いを解決する力を身につける必要があります。皆さんが将来、このような子どもたちを育てることのできる、「教えのプロ」になるために、大学としても優れた教員や充実したカリキュラムなど、教職員一丸となって環境を整え、しっかり対応いたします。

知識として知っていることと、それを教えることは違います。教師は単に教科書に沿って、知っていることを教えていると思ったらそれは大きな間違いです。例えば、教育学者の佐藤学氏は「専門家として教師を育てる」という著書の中で、次のように述べています。オーケストラの指揮者を知っていると思いますが、指揮者は音楽を熟知しない観客から見ると演奏中は単にテンポを合わせて指揮棒を振っているように見えます。しかし、実は非常に高度な仕事を行っています。演奏する楽譜の細部まで知り尽くしており、音楽性と音楽の専門的知識と楽曲の解釈において誰よりも卓越して、さらに楽団員1人ひとりの力・創造性を最大限に引き出す能力を備え、その全てを最大限に発揮して実は指揮棒を振っています。そのことは指揮者が演奏前に非常に多くのリハーサルを行い、細かい指導で自分の理想に近づけようとするだけでも分かります。しかし、その高度の音楽性や専門的知識、楽曲の精緻な分析、楽団員の創造性を最大限に引き出す能力は、指揮棒を振っている時には、外から見えないかもしれません。教師も同様で、教師の仕事ほど複雑で知性的で芸術的で高度の創造性と専門性を求められる仕事はないと言ってもよいでしょう。しかも、その専門的知識や専門的能力のほとんどは外から見ることにはできません。

このように、教師に求められるものは極めて高いことを自覚し、常に学び続ける姿勢を持つことが必要です。自分が学ぶ喜びを知ってこそ、それが教える喜びに繋がり、ひいては教師の高い専門性に繋がると考えています。

そこで、皆さんにはこの4年間で是非、夢中になれるものを、これだけは他の人には負けない、これだけは自信がある、これだけは頑張ったというものを身につけて頂きたいと思います。例えば、資格の取得やボランティア活動でも良いでしょう。スポーツ、文化活動や部活・サークル活動で頑張るのも良いかもしれません。地元上越の高田城マラソン大会完走や自転車で長距離走破などでも良いかもしれません。その経験は必ず教師となったときに支えとなると信じています。そして、ここにおられる皆さんは、全国から本学に集まった教師の大切な卵です。互いに夢中になるものを探し、切磋琢磨しながら、素晴らしい友人関係を築いていって下さい。大学で得た友人は一生の宝です。友だちとの絆を大切にしてほしいと思います。

さて、いよいよ学園生活が始まります。本学の歴史は、まだ40年に満たないほどで長くはありませんが、教育界に大きな足跡を残していることは自他共に認めるどころです。海と山に近く、自然環境が素晴らしい、四季の移ろいが鮮やかな上越市の学びの館、上越教育大学で、健康に十分留意しながら、充実した4年間の大学生活を送り、皆さんが、心に期している目的を達成できますよう心より祈念し、告辞いたします。



学 事

○大学院入試（後期募集）

平成29年度大学院学校教育研究科入学試験（後期募集）を次のとおり実施した。

修士課程は、募集人員78人（学校教育専攻26人，教科・領域教育専攻52人）に対し，応募者41人，合格者32人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員27人（教育臨床コース15人，教育経営コース12人）に対し，応募者10人，合格者10人であった。

出 願 期 間 平成29年 1 月 26 日（木）～ 2 月 3 日（金）

試 験 日 平成29年 3 月 3 日（金）

合 格 発 表 平成29年 3 月 17 日（金）

○大学院入試（第2次学生募集）

平成29年度大学院学校教育研究科入学試験（第2次学生募集）を次のとおり実施した。

修士課程は，募集人員24人（学校教育専攻若干人，教科・領域教育専攻24人）に対し，応募者3人，合格者2人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員8人（教育臨床コース若干人，教育経営コース8人）に対し，応募者はなかった。

出 願 期 間 平成29年 3 月 6 日（月）～ 3 月 13 日（月）

試 験 日 平成29年 3 月 18 日（土）

合 格 発 表 平成29年 3 月 22 日（水）

○学部一般入試（後期日程）

平成29年度学校教育学部一般入試（後期日程）を次のとおり実施した。

募集人員33人に対し，応募者345人，合格者40人であった。

出 願 期 間 平成29年 1 月 23 日（月）～ 2 月 1 日（水）

試 験 日 平成29年 3 月 12 日（日）

合 格 発 表 平成29年 3 月 22 日（水）

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成28年度学位記授与式が平成29年3月25日（土）に兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスにおいて行われた。

なお，平成28年度修了者14人のうち，本学の配属学生は4人である。

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成29年度入学式が平成29年4月8日（土）に兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパスにおいて行われた。

なお，平成29年度入学者40人のうち，本学の配属学生は10人である。

○学生表彰式

学業が特に優秀な学生等を対象に、学生表彰式を実施し、表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

被表彰者氏名	期日	場所	表 彰 事 由
大学院学校教育研究科 学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース1年 于 凱麗	平成29年3月1日 (水)	第一食堂	平成28年度 J. TEST実用日本語 検定特A級に認定
学校教育学部 学校教育専修 幼児教育コース 4年 廣野 かおり	平成29年3月17日 (金)	講堂	学業成績優秀者
学校教育学部 教科・領域教育専修 言語系コース(国語) 4年 荒川 唯	平成29年3月17日 (金)	講堂	学業成績優秀者
学校教育学部 教科・領域教育専修 社会系コース 4年 樋口 大士朗	平成29年3月17日 (金)	講堂	学業成績優秀者
学校教育学部 教科・領域教育専修 言語系コース(国語) 4年 中川 七海	平成29年3月17日 (金)	講堂	独立行政法人国立青少年教育 振興機構において、国立妙高青 少年自然の家のボランティアと してその活動が他の模範として 高く評価され表彰された。
学校教育学部 教科・領域教育専修 社会系コース 4年 新家 加世子	平成29年3月17日 (金)	講堂	独立行政法人国立青少年教育 振興機構において、国立妙高青 少年自然の家のボランティアと してその活動が他の模範として 高く評価され表彰された。

○平成28年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

講演や意見交換等の活動を通して、課外活動団体のリーダーとしての任務を深く認識させるとともにその資質の向上を図ること、また、課外活動団体相互の理解を深め、充実した課外活動の運営と発展に寄与するリーダーの育成を目指すことを目的として実施した。

期 日 : 平成29年3月7日(火)・8日(水)(1泊2日)
場 所 : 講義棟201教室, 国立妙高青少年自然の家
参加人員 : 学 生 75人 団体 36
教職員 9人



○デジタル工作機器講習会

情報メディア教育支援センターが所有するデジタル工作機器について、学内における利用を推進するため、次のとおり講習会を実施した。

期 日 : 平成29年3月29日(水)
場 所 : 情報演習自習室
対象機器 : 1) レーザーカッター (Trotec Laser社製 rayjet出力30W)
2) 捺染プリンタ (エプソン製 SC-F2000)
3) 3Dプリンタ (Microboards Technology社製 AFINIA H480)
参加人員 : 7人

○平成29年度新入生オリエンテーション

新入生が、学生生活を送る上で知っておく必要がある教育課程、履修方法及び学生指導等に係る基本的知識を修得することを目的として実施した。

期 日 : 平成29年4月6日(木), 7日(金)
場 所 : 講堂, 講義棟301教室ほか
内 容 : <学部>
大学教育, 教育課程と履修方法, クラス担当教員による指導ほか
<大学院>
大学院の教育・研究, 教育課程と履修方法, 研究倫理, 個別指導, 就職指導ほか
<全体>

海外教育（特別）（実践）研究及び海外派遣制度，学生指導，保健管理センターほか

○情報セキュリティ講演会

新入生を対象として，大学における教育・研究等の学生生活において，コンピュータのウイルス感染や不正侵入，個人情報流出などの対策等，安全にコンピュータを利用するために必要不可欠である，「情報セキュリティ対策」に関して次のとおり講演会を実施した。

期 日 : 平成29年4月12日（水）
場 所 : 講 堂
講 師 : 情報メディア教育支援センター 准教授 高野 浩志
参加人員 : 学部新入生169人，大学院新入生261人

○新入生ノートパソコン準備講習会

新入生が各自の所有するノートパソコンを，学内において活用できるようサポートするため，次のとおり講習会を実施した。

期 日 : 平成29年4月12日（水）～21日（金）の水及び金曜日
場 所 : 教育情報訓練室2
講習内容 : 1) 学内ネットワーク接続の方法
2) ポータルサイト，Webメール，印刷ステーションの利用方法
3) アンチウイルスソフトの導入方法 等
参加人員 : 学部新入生162人，大学院新入生79人

○ロイロノート・スクール講習会

アクティブラーニング等に活用できる授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」を学内において活用できるようサポートするため，次のとおり講習会を実施した。

期 日 : 平成29年4月19日（水）
場 所 : 教育情報訓練室1
講習内容 : 1) 基礎編の操作方法研修
2) 1対n模擬授業
3) 2人1組模擬授業
参加人員 : 教員4人，学生8人



○平成29年度新入生合宿研修

入学後間もない時期に集団活動（生活）を通じて、新入学生相互並びに教職員との親和を図り、お互いの理解を深め、その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

期 日 : 平成29年 4月21日（金）・22日（土）

場 所 : 国立妙高青少年自然の家

参加人員 : 1年次学生 170人

教職員 28人



人 事

○役員等紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
学 長	かわさき なおや 川 崎 直 哉	平成29年4月1日 ～平成33年3月31日	昭和55年 4月 日本学術振興会奨励研究員 昭和56年 4月 高知大学教育学部助手 昭和57年 4月 高知大学教育学部助教授 平成 2年 9月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成 9年 2月 上越教育大学学校教育学部教授 平成13年 4月 上越教育大学情報処理センター長 (平成15年3月まで) 平成15年 4月 上越教育大学学校教育学部主事 (平成16年3月まで) 平成16年 4月 上越教育大学副学長(平成25年3月まで) 平成25年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成25年 4月 上越教育大学附属図書館長 (平成27年3月まで) 平成27年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科学系長 (平成29年3月まで) 平成29年 4月 国立大学法人上越教育大学長
理 事	うめの まさのぶ 梅 野 正 信	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	昭和54年 4月 中学校・高等学校教諭 昭和63年 4月 鹿児島大学教育学部講師 平成 2年 4月 鹿児島大学教育学部助教授 平成14年10月 鹿児島大学教育学部教授 平成17年12月 鹿児島大学学長補佐(平成19年3月まで) 平成19年 5月 鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター教授 平成19年 5月 鹿児島大学学長補佐(平成20年3月まで) 平成20年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成23年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科学系長 (平成25年3月まで) 平成25年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科専攻長 (平成27年3月まで) 平成27年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科学系長 (平成29年3月まで) 平成29年 4月 国立大学法人上越教育大学理事兼副学長
理 事	おおば しげじ 大 庭 重 治	平成29年4月1日 ～平成31年3月31日	昭和62年 8月 上越教育大学学校教育学部助手 平成 3年10月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成15年 2月 上越教育大学学校教育学部教授 平成19年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成23年 4月 上越教育大学特別支援教育実践研究センター長(平成25年3月まで) 平成27年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科学系長 (平成29年3月まで) 平成29年 4月 国立大学法人上越教育大学理事兼副学長

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事	こすぎ のぶゆき 小 杉 信 行	平成29年4月1日 ～ 平成31年3月31日	昭和51年 4月 大阪大学 昭和59年 6月 文部省大学局 昭和63年 4月 放送大学学園 平成 3年 4月 文部省高等教育局 平成 7年10月 香川大学経理部主計課長 平成10年 4月 政策研究大学院大学総務課長 平成12年 4月 文部省生涯学習局生涯学習振興課専修学校 教育振興室室長補佐 平成13年10月 放送大学学園教務部教務課長 平成16年 4月 文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐 平成17年10月 国立大学法人熊本大学財務部長 平成20年 7月 独立行政法人大学評価・学位授与機構評価 事業部長 平成23年 4月 国立大学法人京都大学学務部長 平成25年 4月 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立 首爾青少年自然の家所長 平成28年 4月 国立大学法人上越教育大学理事兼事務局長
副学長	じきはら かん 直 原 幹	平成29年4月1日 ～ 平成31年3月31日	昭和61年 4月 上越教育大学学校教育学部助手 平成 6年 4月 上越教育大学学校教育学部講師 平成10年 1月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成18年10月 上越教育大学学校教育学部教授 平成19年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成24年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科学系長 (平成25年3月まで) 平成25年 4月 上越教育大学附属中学校長 (平成27年3月まで) 平成27年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科学系長 (平成29年3月まで) 平成29年 4月 上越教育大学副学長
副学長	はやし やすなり 林 泰 成	平成29年4月1日 ～ 平成31年3月31日	平成 8年10月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成19年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成21年 4月 上越教育大学附属小学校長 (平成23年3月まで) 平成23年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科専攻長 (平成25年3月まで) 平成25年 4月 上越教育大学副学長
副学長	おの ゆうじ 小 埜 裕 二	平成29年4月1日 ～ 平成31年3月31日	昭和63年 4月 金沢大学文学部助手 平成 6年 4月 上越教育大学学校教育学部助教授 平成19年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科教授 平成27年 4月 上越教育大学大学院学校教育研究科学系長 (平成29年3月まで) 平成29年 4月 上越教育大学副学長

○人事異動（役員及び常勤職員）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	役 員			
H29. 3. 31	任期満了 任期満了 任期満了		佐藤 芳 徳 西村 俊 夫 立屋敷 かおる	学長 理事兼副学長 理事（非常勤）
H29. 4. 1	任 命 任 命 任 命 任用更新	学長 理事 理事 理事	川崎 直 哉 梅野 正 信 大庭 重 治 小杉 信 行	教授（自然・生活教育学系） 教授（学校教育学系） 教授（臨床・健康教育学系） 理事
	部局長等			
H29. 3. 31	任期満了 任期満了 任期満了 免		天野 和 孝 廣瀬 裕 一 小林 辰 至 渡邊 隆	副学長 副学長 学長特別補佐 経営協議会委員
H29. 4. 1	兼 務 兼 務 任 命 任用更新 任 命 兼 務 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命 任 命	副学長 副学長 副学長 副学長 副学長 事務局長 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 経営協議会委員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員 教育研究評議会評議員	梅野 正 信 大庭 重 治 直原 幹 林 泰 成 小 埜 裕 二 小杉 信 行 川崎 直 哉 梅野 正 信 大庭 重 治 小杉 信 行 林 泰 成 廣瀬 裕 一 長谷川 彰 川崎 直 哉 梅野 正 信 大庭 重 治 直原 幹	理事 理事 教授（芸術・体育教育学系） 副学長 教授（人文・社会教育学系） 理事 学長 理事 理事 理事 副学長 教授（学校教育学系） 公益財団法人新潟県文化振興財団理事長 学長 理事 理事 副学長

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	任 命	教育研究評議会評議員	林 泰 成	副学長
	任 命	教育研究評議会評議員	小 埜 裕 二	副学長
	任 命	教育研究評議会評議員	加 藤 哲 文	教授（臨床・健康教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	中 山 勘次郎	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	河 合 康	教授（臨床・健康教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	山 縣 耕太郎	教授（人文・社会教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	中 川 仁	教授（自然・生活教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	平 野 俊 介	教授（芸術・体育教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	越 良 子	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	阿 部 靖 子	教授（芸術・体育教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	廣 瀬 裕 一	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	松 沢 要 一	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	石 野 正 彦	教授（学校教育学系）
	任 命	教育研究評議会評議員	小 杉 信 行	理事
	任 命	教育研究評議会評議員	鈴 木 秀 樹	事務局次長
	兼 務	附属図書館長	加 藤 哲 文	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	学校教育実践研究センター長	石 野 正 彦	教授（学校教育学系）
	兼 務	保健管理センター所長	上 野 光 博	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	情報メディア教育支援センター長	天 野 和 孝	教授（自然・生活教育学系）
	兼 務	心理教育相談室長	加 藤 哲 文	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	特別支援教育実践研究センター長	河 合 康	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	国際交流推進センター長	釜 田 聡	教授（学校教育学系）
	兼 務	附属幼稚園長	杉 浦 英 樹	教授（学校教育学系）
	兼 務	附属小学校長	岩 崎 浩	教授（自然・生活教育学系）
	兼 務	附属中学校長	松 沢 要 一	教授（学校教育学系）
	兼 務	学校教育学系長	中 山 勘次郎	教授（学校教育学系）
	兼 務	臨床・健康教育学系長	河 合 康	教授（臨床・健康教育学系）
	兼 務	人文・社会教育学系長	山 縣 耕太郎	教授（人文・社会教育学系）
	兼 務	自然・生活教育学系長	中 川 仁	教授（自然・生活教育学系）
	兼 務	芸術・体育教育学系長	平 野 俊 介	教授（芸術・体育教育学系）
	兼 務	学校教育専攻長	越 良 子	教授（学校教育学系）
	兼 務	教科・領域教育専攻長	阿 部 靖 子	教授（芸術・体育教育学系）
	兼 務	教育実践高度化専攻長	廣 瀬 裕 一	教授（学校教育学系）
	兼 務	学長特別補佐	水 落 芳 明	教授（学校教育学系）
	委 嘱	特別顧問	渡 邊 隆	公立大学法人新潟県立看護大学理事長・新潟県立看護大学学長

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	大学教員			
H29. 3. 31	定年退職		丸 山 良 平	教授（学校教育学系）
	定年退職		我 妻 敏 博	教授（臨床・健康教育学系）
	定年退職		下 西 善三郎	教授（人文・社会教育学系）
	定年退職		松 田 慎 也	教授（人文・社会教育学系）
	定年退職		小 川 茂	教授（自然・生活教育学系）
	定年退職		得 丸 定 子	教授（自然・生活教育学系）
	退 職	西九州大学子ども学部子ども学科教授	高 石 次 郎	教授（芸術・体育教育学系）
	退 職	日本体育大学准教授	稲 田 結 美	准教授（自然・生活教育学系）
	退 職	立正大学文学部専任講師	白 岩 広 行	講師（人文・社会教育学系）
	任期満了	長岡市立才津小学校校長	菊 地 雅 樹	特任准教授（学校教育実践研究センター）
	任期満了	上越市立大瀧小学校校長	佐 藤 人 志	特任准教授（学校教育実践研究センター）
	任期満了	新潟市立木戸小学校校長	長 沼 智 之	特任准教授（学校教育実践研究センター）
H29. 4. 1	昇 任	教授（学校教育学系）	中 野 博 幸	准教授（学校教育学系）
	昇 任	教授（臨床・健康教育学系）	笠 原 芳 隆	准教授（臨床・健康教育学系）
	昇 任	教授（芸術・体育教育学系）	大 橋 奈希左	准教授（芸術・体育教育学系）
	昇 任	准教授（学校教育学系）	河 野 麻沙美	講師（学校教育学系）
	昇 任	准教授（自然・生活教育学系）	下 村 博 志	講師（自然・生活教育学系）
	昇 任	准教授（芸術・体育教育学系）	池 川 茂 樹	講師（芸術・体育教育学系）
	任用更新	助教（臨床・健康教育学系）	池 田 吉 史	助教（臨床・健康教育学系）
	採 用	教授（自然・生活教育学系）	小 高 さほみ	青山学院大学非常勤講師他
	採 用	准教授（学校教育学系）	山 口 美 和	長野県短期大学准教授
	採 用	特任教授（人文・社会教育学系）	松 田 慎 也	教授（人文・社会教育学系）
	採 用	特任教授（学校教育実践研究センター）	長谷川 敬 子	上越市立大瀧町小学校校長
	採 用	特任教授（学校教育実践研究センター）	荒 川 圭 子	上越市立大和小学校校長
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	田 邊 道 行	上越市教育委員会学校教育課指導主事
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	酒 井 悟	新潟市立女池小学校教頭
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	小 林 和 之	十日町市立吉田中学校教頭
	任 命	教授（自然・生活教育学系）	天 野 和 孝	副学長
	任 命	教授（学校教育学系）	廣 瀬 裕 一	副学長
	兼 務	教授	梅 野 正 信	理事
	兼 務	教授	大 庭 重 治	理事
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻生活・健康系教育実践コース」	直 原 幹	副学長
	兼 務	教授「学校教育専攻道徳・生徒指導コース」	林 泰 成	副学長
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻言語系教育実践コース」	小 埜 裕 二	副学長
	兼 務	准教授（学校教育実践研究センター）	河 野 麻沙美	准教授（学校教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	兼 務	教授（保健管理センター）	野 口 孝 則	教授（臨床・健康教育学系）
	附属学校教員			
H29. 3. 30	退 職	上越市立飯小学校養護教諭	中 村 直 美	附属中学校養護教諭
H29. 3. 31	退 職	上越市立大潟町小学校教諭	南 雲 民 人	附属小学校指導教諭
	退 職	新潟市立鳥屋野小学校教諭	川 村 正 和	附属小学校教諭
	退 職	糸魚川市立糸魚川小学校教諭	歌 川 浩一郎	附属小学校教諭
	退 職	長岡市立表町小学校教諭	小 山 明希恵	附属小学校教諭
	退 職	上越市立大潟町中学校教頭	中 野 博 史	附属中学校主幹教諭
	退 職	上越市立城北中学校教諭	濁 川 朋 也	附属中学校指導教諭
	退 職	上越市立三和中学校教諭	田 口 秀 行	附属中学校教諭
	退 職	柏崎市立第一中学校教諭	樋 口 雅 樹	附属中学校教諭
H29. 4. 1	昇 任	附属中学校主幹教諭	小 池 克 行	附属中学校教諭
	配 置 換	附属小学校指導教諭	石 口 昇	附属小学校教諭
	配 置 換	附属中学校指導教諭	鴨 井 淳 一	附属中学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	高 橋 聡 将	新潟市立大淵小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	小 林 健 太	上越市立里公小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	五十嵐 徳 也	上越市立直江津小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	風 間 寛 之	上越市立諏訪小学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	市 村 尚 史	柏崎市立第一中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	大 崎 貢	上越市立城北中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	佐 藤 直 己	上越市立城北中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	猪 股 大 輔	長岡市立東北中学校教諭
	採 用	附属中学校養護教諭	室 橋 由 貴	上越市立大手町小学校養護教諭
	事務系職員			
H29. 3. 3	休職期間更新	(29. 3. 3 ~ 29. 6. 2)	松 尾 瞳	入試課入試チーム
H29. 3. 31	定年退職		田 上 隆	事務局次長
	定年退職		平 野 秀 秋	監査室長
	退 職	愛知教育大学研究推進部高度教員養成支援課長	祖父江 讓	経営企画課長
	退 職	新潟大学学務部キャリア支援課主任	竹 内 若 奈	総務課人事・労務チーム主任
	退 職	国立教育政策研究所	佐 野 摩里子	総務課付
	退 職		下 山 純 里	学生支援課学生支援チーム

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H29. 4. 1	採用	事務局次長	鈴木 秀 樹	文部科学省研究振興局振興企画課学術企画室室長補佐
	配置換	監査室長	佐藤 誠 一	研究連携課長
	採用	経営企画課長	平野 忠 康	長岡技術科学大学総務部学長戦略課長
	昇任	研究連携課長	渡邊 茂 康	教育支援課副課長（教務支援担当）
	命	入試課長事務代理	鈴木 秀 樹	事務局次長
	兼務解除	経営企画課副課長	水野 栄 二	経営企画課副課長 経営企画課経営企画チーム主査（主に改革担当）
	兼務解除	研究連携課副課長（国際交流担当）	藍 木 順 二	研究連携課副課長（国際交流担当） 研究連携課国際交流チーム主査（主に国際交流担当）
	配置換	広報課副課長	藍 木 順 二	研究連携課副課長（国際交流担当）
	配置換	教育支援課副課長（教務支援担当）	桐山 敦 史	広報課副課長
	兼務	教育支援課副課長（学校連携担当）	小日向 幸 江	教育支援課副課長（学校連携担当）
		教育支援課学校連携チーム主査（主に教育実習担当）		
	担当免	研究連携課副課長	牧 由美子	研究連携課副課長（研究連携担当）
	配置換	総務課総務チーム主査（主に秘書担当）	桐山 泉	教育支援課学校連携チーム主査（主に教育実習担当）
	配置換	経営企画課経営企画チーム主査（主に改革・評価担	大貫 健 治	研究連携課研究連携チーム主査（主に研究支援担当）
	配置換	広報課広報チーム主査（主に広報推進担当）	渡邊 真紀子	学生支援課就職支援チーム主査（主に就職支援担当）
	担当命免	研究連携課研究連携チーム主査（主に研究支援担当）	細野 学	研究連携課研究連携チーム主査（主に地域連携担当）
	採用	研究連携課研究連携チーム主査（主に地域連携担当）	笹川 正 樹	新潟大学学務部教務課学務情報係長
	配置換	研究連携課国際交流チーム主査（主に国際交流担当）	渡邊 一 美	総務課総務チーム主査（主に秘書担当）
	配置換	学生支援課就職支援チーム主査（主に就職支援担当）	山口 信 幸	経営企画課経営企画チーム主査（主に評価担当）
	採用	総務課人事・労務チーム（臨時職員）	本間 茉栄美	経営企画課経営企画チーム（事務補佐員）
	採用	財務課財務チーム	池田 由美恵	財務課財務チーム（臨時職員）
	採用	教育支援課学校連携チーム（臨時職員）	笠原 素 良	研究連携課研究連携チーム（事務補佐員）
	復帰	学生支援課学生支援チーム	毛 見 悠 人	大学改革支援・学位授与機構評価事業部評価企画課 国立大学評価室達成評価第2係
	採用	学生支援課学生支援チーム	茂野 晃	
	復帰	入試課入試チーム	山田 佳 寛	国立妙高青少年自然の家総務係
	任用更新	監査室（短時間再雇用職員：事務・技術職）	後藤 公 夫	監査室（短時間再雇用職員：事務・技術職）
	任用更新	附属学校課附属学校チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）	瀧澤 政 之	附属学校課附属学校チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）
任用更新 (配置換)	附属学校課附属学校チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）	中島 忍	入試課入試チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）	
任用更新	施設課施設チーム（短時間再雇用職員：技能・労務職）	野崎 薫	施設課施設チーム（短時間再雇用職員：技能・労務職）	
再雇用	学生支援課学生支援チーム（短時間再雇用職員：事務・技術職）	草間 忠 明	長岡工業高等専門学校事務部長	
在籍出向	国立妙高青少年自然の家	草間 祐 太	学生支援課学生支援チーム	
免	入試課長事務代理	鈴木 秀 樹	事務局次長	
H29. 4. 17				

○学内委員会委員等

教育研究評議会に置かれる委員会

大学改革推進委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
梅野 正信	理事	---		
大庭 重治	理事	---		委員長
小杉 信行	理事	---		
直原 幹	副学長	---		
林 泰成	副学長	---		
小埜 裕二	副学長	---		
加藤 哲文	附属図書館長	---		
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
越 良子	学校教育専攻長	---		
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
水落 芳明	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
石野 正彦	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
小島 伸之	学長指名	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
鈴木 秀樹	学長指名	事務局次長	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上19名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員人材評価委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	理事	---		委員長
小埜 裕二	副学長	---		
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
越 良子	学校教育専攻長	---		
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	

以上11名

教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
小埜 裕二	副学長	---		委員長
加藤 哲文	附属図書館長	---		
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
天野 和孝	情報メディア教育支援センター長	---		
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
五百川 裕	グローバル・ICT・学習研究コース長	---		
稲垣 応顕	道徳・生徒指導コース長	---		
安藤 知子	教育連携コース長	---		
加藤 哲文	臨床心理学コース長	---		
杉浦 英樹	幼年教育コース長	---		
笠原 芳隆	特別支援教育コース長	---		
押木 秀樹	言語系教育実践コース長	---		
志村 喬	社会系教育実践コース長	---		
濤崎 智佳	自然系教育実践コース長	---		
阿部 靖子	芸術系教育実践コース長	---		
土田 了輔	生活・健康系教育実践コース長	---		
西川 純	教育臨床コース長 教育経営コース長	---		

以上21名

教育研究評議会に置かれる委員会

カリキュラム企画運営会議

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	---		議長
(林 泰成)	教務委員会委員長	---		
土田 了輔	教育実習委員会委員長	教授		
(林 泰成)	ファカルティ・ディベロップメント 委員会委員長	---		
松本 健義	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
(林 泰成)	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
内藤 美加	学校教育専攻 教育連携コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
五十嵐透子	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼年教育コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
藤井 和子	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
北條 礼子	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	29. 4. 1～30. 3. 31	
浅倉 有子	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
松本 健吾	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
濤崎 智佳	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
阿部亮太郎	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
伊藤 将和	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
周東 和好	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
吉澤 千夏	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
留目 宏美	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
早川 裕隆	教育実践高度化専攻	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	教授		
釜田 聡	国際交流推進センター長	教授		
細谷 敏明	教育支援課長	---		

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員学校現場研修委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
杉浦 英樹	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
岩崎 浩	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
松沢 要一	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
石野 正彦	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
清水 雅之	准教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
土田 了輔	教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
長谷川 敬子	特任教授	- - -	29. 4. 1～31. 3. 31	
平間えり子	附属幼稚園副園長	- - -		
中島 秀晴	附属小学校副校長	- - -		
長谷川泰山	附属中学校副校長	- - -		

以上11名

法人に置かれる委員会

ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	理事	---		委員長
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
岩崎 浩	附属小学校長	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
小杉 信行	事務局長	---		
宮下 敏恵	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上10名

法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
小埜 裕二	副学長	---		委員長
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
内藤 美加	学校教育学系	教授	28.4.1~30.3.31	
野口 孝則	臨床・健康教育学系	教授	28.4.1~30.3.31	
野地 美幸	人文・社会教育学系	准教授	28.4.1~30.3.31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	29.4.1~30.3.31	
長谷川正規	芸術・体育教育学系	准教授	28.4.1~30.3.31	29.10.1~30.3.31 尾崎祐司准教授 に交代
五十嵐透子	学校教育専攻	教授	28.4.1~30.3.31	
周東 和好	教科・領域教育専攻	教授	28.4.1~30.3.31	
菅原 至	教育実践高度化専攻	教授	28.4.1~30.3.31	
岩崎 浩	附属小学校長	---	29.4.1~31.3.31	
小杉 信行	事務局長	---		
光永伸一郎	学長指名	教授	28.4.13~30.3.31	

以上13名

法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
直原 幹	副学長	---		委員長
布川 和彦	学校教育学系	教授	28.4.1～30.3.31	
笠原 芳隆	臨床・健康教育学系	教授	28.4.1～30.3.31	
押木 秀樹	人文・社会教育学系	講師	29.4.1～30.3.31	
小川 佳宏	自然・生活教育学系	准教授	28.4.1～30.3.31	
上野 正人	芸術・体育教育学系	教授	28.4.1～30.3.31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授	29.4.1～31.3.31	
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授	28.4.1～30.3.31	
長谷川泰山	附属中学校副校長	---	29.4.1～31.3.31	
内藤 美加	学長指名	教授	28.4.1～30.3.31	
安部 泰	学長指名	准教授	28.4.1～30.3.31	

以上11名

法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
大庭 重治	副学長	---		委員長
山田 智之	学校教育学系	准教授	28.4.1～30.3.31	
阿部 隆幸	学校教育学系	准教授	28.4.1～30.3.31	
宮下 敏恵	臨床・健康教育学系	教授	28.4.1～30.3.31	
佐藤 将朗	臨床・健康教育学系	准教授	29.4.1～30.3.31	
松田 慎也	人文・社会教育学系	特任教授	29.4.1～30.3.31	
迎 勝彦	人文・社会教育学系	准教授	28.4.1～30.3.31	
高橋 等	自然・生活教育学系	教授	28.4.1～30.3.31	
下村 博志	自然・生活教育学系	准教授	28.4.1～30.3.31	
平野 俊介	芸術・体育教育学系	教授	28.4.1～30.3.31	
五十嵐史帆	芸術・体育教育学系	准教授	28.4.1～30.3.31	
杉浦 英樹	附属幼稚園長	---	29.4.1～31.3.31	
高野 晃宏	施設課長	---		
小杉 信行	学長指名	理事	28.4.1～30.3.31	

以上14名

法人に置かれる委員会

男女共同参画推進委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	理事	---		委員長
中山勘次郎	学校教育学系長	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
木村 吉彦	教授	---	29. 4. 1～31. 3. 31	
野地 美幸	准教授	---	28. 4. 1～30. 3. 31	
平間えり子	附属幼稚園副園長	---	28. 4. 1～30. 3. 31	
中島 秀晴	附属小学校副校長	---	28. 4. 1～30. 3. 31	
池田 謙哉	事務系職員	---	28. 4. 1～30. 3. 31	
田上 弘美	事務系職員	---	28. 4. 1～30. 3. 31	
東條 俊明	総務課長	---		
吉澤 千夏	学長指名	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	

以上11名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
小埜 裕二	副学長	---		委員長
笠原 芳隆	人文・社会科学分野	教授	29.4.1～30.3.31	
北條 礼子	人文・社会科学分野	教授	28.4.1～30.3.31	
光永伸一郎	自然科学分野	教授	28.4.1～30.3.31	
池川 茂樹	自然科学分野	准教授	28.4.1～30.3.31	
上野 光博	保健管理センター	教授	28.4.1～30.3.31	
渡辺 伸樹	学外学識経験者	---	28.4.1～30.3.31	
藤田 尚	学外学識経験者	---	28.4.1～30.3.31	
渡辺 弘之	学外学識経験者	---	29.4.1～30.3.31	
宮下 敏恵	学長指名	教授	28.4.1～30.3.31	
増井 晃	学長指名	教授	28.4.1～30.3.31	

以上11名

教授会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	副学長	---		委員長
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
五百川 裕	グローバル・ICT・学習研究コース長	---		
稲垣 応顕	道徳・生徒指導コース長	---		
安藤 知子	教育連携コース長	---		
加藤 哲文	臨床心理学コース長	---		
杉浦 英樹	幼年教育コース長	---		
笠原 芳隆	特別支援教育コース長	---		
押木 秀樹	言語系教育実践コース長	---		
志村 喬	社会系教育実践コース長	---		
濤崎 智佳	自然系教育実践コース長	---		
阿部 靖子	芸術系教育実践コース長	---		
土田 了輔	生活・健康系教育実践コース長	---		
西川 純	教育臨床コース長 教育経営コース長	---		
高島 純一	財務課長	---		

以上15名

教授会に置かれる委員会

教務委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	---		委員長
高野 浩志	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
稲垣 応顕	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	教授	28.4.1～30.3.31	
奥村 太一	学校教育専攻 教育連携コース	准教授	28.4.13～30.3.31	
五十嵐透子	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	29.4.1～31.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼年教育コース	教授	29.4.1～31.3.31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
松崎 邦守	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
茨木 智志	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
林田 秀一	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
谷 友和	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	講師	28.4.1～30.3.31	
尾崎 祐司	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
伊藤 将和	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
大橋奈希左	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
野口 孝則	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29.4.1～30.3.31	
堀 健志	教育実践高度化専攻	准教授	28.4.1～30.3.31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	28.4.1～30.3.31	
細谷 敏明	教育支援課長	---		

以上21名

教授会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
石川 真	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
辻村 貴洋	学校教育専攻 教育連携コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
白神 敬介	学校教育専攻 幼年教育コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
池田 吉史	学校教育専攻 特別支援教育コース	助教	29. 4. 1～31. 3. 31	
野地 美幸	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
橋本 暁子	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
下村 博志	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～30. 3. 31	
玉村 恭	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
松井千鶴子	教育実践高度化専攻	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
中野 博幸	学校教育実践研究センター	教授		
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授		
清水 雅之	学校教育実践研究センター	准教授		
佐藤 賢治	学校教育実践研究センター	特任教授		
長谷川敬子	学校教育実践研究センター	特任教授		
荒川 圭子	学校教育実践研究センター	特任教授		
鈴木 善士	学校教育実践研究センター	特任准教授		
田邊 道行	学校教育実践研究センター	特任准教授		
酒井 悟	学校教育実践研究センター	特任准教授		
小林 和之	学校教育実践研究センター	特任准教授		
平間えり子	附属幼稚園副園長	---		
中島 秀晴	附属小学校副校長	---		
長谷川泰山	附属中学校副校長	---		
細谷 敏明	教育支援課長	---		
土田 了輔	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	委員長
笠原 芳隆	学長指名	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	

以上28名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、道徳・生徒指導コースから選出の委員を欠員としている。

教授会に置かれる委員会

学生委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
井上 久祥	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	教授	28.4.1～30.3.31	
山田 智之	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
近藤 孝司	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
山口 美和	学校教育専攻 幼年教育コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
佐藤 将朗	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
Brown, Ivan Bernard	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
小島 伸之	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
高橋 等	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
高津戸 秀	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
阿部亮太郎	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
五十嵐史帆	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～30.3.31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
竹野 欽昭	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
佐藤ゆかり	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29.4.1～30.3.31	
菅原 至	教育実践高度化専攻	教授	28.4.1～30.3.31	
上野 光博	保健管理センター所長	- - -		
岡崎 明弘	学生支援課長	- - -		
上野 正人	学長指名	教授	29.4.1～31.3.31	委員長

以上20名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、教育連携コースから選出の委員を欠員とし、また、学校教育専攻選出の委員から教授を充てる人数を1人としている。

教授会に置かれる委員会

就職委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
直原 幹	副学長	---		委員長
河野麻沙美	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
大前 敦巳	学校教育専攻 教育連携コース	教授	28.4.1～30.3.31	
加藤 哲文	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	29.4.1～31.3.31	
藤井 和子	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
押木 秀樹	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	29.4.1～30.3.31	
大場 浩正	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	29.10.1～30.3.31 長谷川佑介講師 に交代
吉田 昌幸	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
小林 辰至	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	29.4.1～30.3.31	
林田 秀一	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	29.4.1～31.3.31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
松尾 大介	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
小高さほみ	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～31.3.31	
池川 茂樹	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
桐生 徹	教育実践高度化専攻	教授	28.4.1～30.3.31	
中野 博幸	学校教育実践研究センター	教授	28.4.1～30.3.31	
岡崎 明弘	学生支援課長	---		
伊藤 孝之	プレイスメントプラザ次長	---		

以上20名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、道徳・生徒指導コース及び幼年教育コースから選出の委員を欠員としている。

教授会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
直原 幹	副学長	- - -		委員長
釜田 聡	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
高橋 知己	学校教育専攻 道徳・生徒指導コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
安藤 知子	学校教育専攻 教育連携コース	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
田中 圭介	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	29. 4. 1～31. 3. 31	
山口 美和	学校教育専攻 幼年教育コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
小林 優子	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	28. 4. 1～30. 3. 31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
長谷川佑介	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	講師	29. 4. 1～31. 3. 31	
下里 俊行	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	教授	29. 4. 1～30. 3. 31	
天野 和孝	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	29. 4. 1～30. 3. 31	
斎藤 敏夫	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
長谷川正規	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
安部 泰	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～30. 3. 31	
松浦 亮太	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
大森 康正	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
吉澤 千夏	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
留目 宏美	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
近藤 誠	教育実践高度化専攻	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
林 泰成	教務委員会委員長	- - -		
(釜田 聡)	国際交流推進センター長	- - -		
佐藤 裕子	入試課長	- - -		
中山勘次郎	学長指名	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	

以上 22 名

※ 教科・領域教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、教科・領域教育専攻選出の委員から教授を充てる人数を2人としている。

教授会に置かれる委員会

ファカルティ・ディベロップメント委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
城間 祥子	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
大前 敦巳	学校教育専攻 教育連携コース	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
近藤 孝司	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼年教育コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
押木 秀樹	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
中平 一義	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	講師	29. 4. 27～30. 3. 31	
中村 雅彦	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
伊藤 将和	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
池川 茂樹	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
片桐 史裕	教育実践高度化専攻 教育臨床コース	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
瀬戸 健	教育実践高度化専攻 教育経営コース	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
村中 智彦	学長指名	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	

以上13名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、道徳・生徒指導コース及び特別支援教育コースから選出の委員を欠員としている。

大学に置かれる委員会

教員免許状更新講習実施委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	---		委員長
野澤 有希	学校教育専攻 グローバル・ICT・学習研究コース	講師	28.4.1～30.3.31	
辻村 貴洋	学校教育専攻 教育連携コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
宮崎 球一	学校教育専攻 臨床心理学コース	助教	29.4.1～30.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼年教育コース	教授	29.4.1～31.3.31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
長谷川佑介	教科・領域教育専攻 言語系教育実践コース	講師	28.4.1～30.3.31	
畔上 直樹	教科・領域教育専攻 社会系教育実践コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
伊達 文治	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
高津戸 秀	教科・領域教育専攻 自然系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
上野 正人	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
安部 泰	教科・領域教育専攻 芸術系教育実践コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
山崎 貞登	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	29.4.1～30.3.31	
佐藤 悦子	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
上野 光博	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	教授	28.4.1～30.3.31	
松浦 亮太	教科・領域教育専攻 生活・健康系教育実践コース	准教授	28.4.1～30.3.31	
片桐 史裕	教育実践高度化専攻	准教授	28.4.1～30.3.31	
細谷 敏明	教育支援課長	---		

以上19名

※ 学校教育専攻長からの申し出により、上越教育大学における各種委員会の組織の特例に関する規程第2条第1項に規定する特例を適用し、道徳・生徒指導コースから選出の委員を欠員とすることを認めている。

大学に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
小埜 裕二	研究倫理教育責任者（副学長）	---		委員長
加藤 哲文	附属図書館長	---		
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		
天野 和孝	情報メディア教育支援センター長	---		
(加藤 哲文)	心理教育相談室長	---		
河合 康	特別支援教育実践研究センター長	---		
釜田 聡	国際交流推進センター長	---		
杉浦 英樹	附属幼稚園長	---		
岩崎 浩	附属小学校長	---		
松沢 要一	附属中学校長	---		
中山勘次郎	学校教育学系長	---		
河合 康	臨床・健康教育学系長	---		
山縣耕太郎	人文・社会教育学系長	---		
中川 仁	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
小杉 信行	事務局長	---		
渡辺 伸樹	学長指名	---	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上17名

大学に置かれる委員会

動物実験委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
小埜 裕二	副学長	---	29.4.1~31.3.31	委員長
直原 幹	副学長	---	29.4.1~31.3.31	
竹野 欽昭	芸術・体育教育学系	准教授	29.4.1~31.3.31	
中村 雅彦	自然・生活教育学系	教授	29.4.1~31.3.31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	29.4.1~31.3.31	
上野 光博	保健管理センター	教授	29.4.1~31.3.31	

以上6名

大学に置かれる委員会

C S T 養成事業実施委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大庭 重治	理事	- - -		
林 泰成	副学長	- - -		委員長
五百川 裕	学校教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
桐生 徹	学校教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
石野 正彦	学校教育学系	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
小林 辰至	自然・生活教育学系	教授	29. 4. 1～30. 3. 31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	29. 4. 1～31. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
中島 秀晴	附属小学校	副校長	29. 4. 1～31. 3. 31	
牧井 創	附属中学校	教頭	29. 4. 1～31. 3. 31	
大野 雅人	新潟県教育委員会義務教育課長			
興治 文子	国立大学法人新潟大学教育学部准教授			
吉田 隆	新潟市教育委員会教職員課長			
竹内 正浩	長岡市教育委員会学校教育課長			
澁谷 一男	新発田市教育委員会学校教育課長			
澤田 靖	上越市教育委員会学校教育課長			
吉越 哲也	妙高市教育委員会こども教育課長			
山本 修	糸魚川市教育委員会こども教育課長			
吉田 淳一	柏崎市教育委員会学校教育課長			
中田 亮一	新潟県立教育センター所長			
津野 治彦	新潟市立総合教育センター所長			
宮 宏之	長岡市教育センター所長（新潟県地区理科教育センター連絡協議会会長）			
伊野 亘	国立妙高青少年自然の家所長			
宮島 宏	糸魚川市博物館館長			
白鳥 尚夫	上越清里星のふるさと館館長			

以上25名

附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
加藤 哲文	附属図書館長	---		委員長
越 良子	学校教育専攻長	---		
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
佐藤 秀	学術情報課長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	

以上6名

附属施設等に置かれる委員会

学校教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
石野 正彦	学校教育実践研究センター長	---		委員長
中野 博幸	学校教育実践研究センター	教授		
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	准教授		
清水 雅之	学校教育実践研究センター	准教授		
土田 了輔	学校教育実践研究センター（兼務）	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
佐藤 賢治	学校教育実践研究センター	特任教授		
長谷川敬子	学校教育実践研究センター	特任教授		
荒川 圭子	学校教育実践研究センター	特任教授		
鈴木 善士	学校教育実践研究センター	特任准教授		
田邊 道行	学校教育実践研究センター	特任准教授		
酒井 悟	学校教育実践研究センター	特任准教授		
小林 和之	学校教育実践研究センター	特任准教授		
佐藤多佳子	学校教育学系	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
八島 猛	臨床・健康教育学系	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
Brown, Ivan Bernard	人文・社会教育学系	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
佐藤ゆかり	自然・生活教育学系	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
洞谷亜里佐	芸術・体育教育学系	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
中島 秀晴	附属小学校副校長	---		

以上18名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター	教授		
上野 正人	学生委員会委員長	---		
宮崎 球一	学校教育専攻	助教	29. 4. 1～31. 3. 31	
宮川 健	教科・領域教育専攻	准教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
阿部 隆幸	教育実践高度化専攻	准教授	28. 4. 1～30. 3. 31	
五十嵐 透子	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
野口 孝則	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上8名

附属施設等に置かれる委員会

情報メディア教育支援センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
天野 和孝	情報メディア教育支援センター長	---		委員長
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	教授		
大森 康正	情報メディア教育支援センター	准教授		
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授		
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	准教授		
田島 弘司	学校教育学系	准教授	29.4.1～31.3.31	
増井 晃	臨床・健康教育学系	教授	29.4.1～31.3.31	
畔上 直樹	人文・社会教育学系	准教授	29.4.1～31.3.31	
濤崎 智佳	自然・生活教育学系	教授	29.4.1～31.3.31	
長谷川正規	芸術・体育教育学系	准教授	29.4.1～31.3.31	29.10.1～30.3.31 尾崎祐司准教授に 交代

以上10名

附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
加藤 哲文	心理教育相談室長	---		委員長
五十嵐透子	心理教育相談室相談員	教授		
宮下 敏恵	心理教育相談室相談員	教授		
近藤 孝司	心理教育相談室相談員	准教授		
田中 圭介	心理教育相談室相談員	講師		
宮崎 球一	心理教育相談室相談員	助教		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
河合 康	特別支援教育実践研究センター	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	

以上8名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
河合 康	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
笠原 芳隆	特別支援教育実践研究センター	教授		
藤井 和子	特別支援教育実践研究センター	准教授		
村中 智彦	特別支援教育実践研究センター	准教授		
八島 猛	特別支援教育実践研究センター	准教授		
佐藤 将朗	特別支援教育実践研究センター	准教授		
小林 優子	特別支援教育実践研究センター	講師		
池田 吉史	特別支援教育実践研究センター	助教		
加藤 哲文	心理教育相談室	教授	28. 4. 1～30. 3. 31	

以上9名

附属施設等に置かれる委員会

国際交流推進センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
釜田 聡	国際交流推進センター長	---		委員長
藤谷 元子	国際交流推進センター	准教授		
北條 礼子	国際交流推進センター（兼務）	教授		
押木 秀樹	国際交流推進センター（兼務）	教授		
大前 敦巳	国際交流推進センター（兼務）	教授		
田島 弘司	国際交流推進センター（兼務）	准教授		
Brown, Ivan Bernard	国際交流推進センター（兼務）	准教授		
原 瑞穂	国際交流推進センター（兼務）	准教授		
辻野けんま	国際交流推進センター（兼務）	准教授		
河合 康	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
志村 喬	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
阿部 靖子	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
岩崎 浩	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	
松沢 要一	学長指名	教授	29. 4. 1～31. 3. 31	

以上14名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	---		委員長
越 良子	学校教育専攻長	---		
阿部 靖子	教科・領域教育専攻長	---		
廣瀬 裕一	教育実践高度化専攻長	---		
杉浦 英樹	附属幼稚園長	---		
岩崎 浩	附属小学校長	---		
松沢 要一	附属中学校長	---		
平間えり子	附属幼稚園副園長	---		
中島 秀晴	附属小学校副校長	---		
長谷川泰山	附属中学校副校長	---		
小杉 信行	事務局長	---		

以上11名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院運営会議

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	備考	氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
川崎 直哉	学長	---	議長	早川 裕隆	先端課題実践開発連合講座	教授	
梅野 正信	副学長	---		水落 芳明	先端課題実践開発連合講座	教授	
大庭 重治	副学長	---		佐藤多佳子	先端課題実践開発連合講座	准教授	
直原 幹	副学長	---		高橋 知己	先端課題実践開発連合講座	准教授	
林 泰成	副学長	---		大場 浩正	言語系教育連合講座	教授	
小埜 裕二	副学長	---		押木 秀樹	言語系教育連合講座	教授	
安藤 知子	学校教育方法連合講座	教授		北條 礼子	言語系教育連合講座	教授	
井上 久祥	学校教育方法連合講座	教授		渡部 洋一郎	言語系教育連合講座	教授	
大前 敦巳	学校教育方法連合講座	教授		野地 美幸	言語系教育連合講座	准教授	
釜田 聡	学校教育方法連合講座	教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座	教授	
越 良子	学校教育方法連合講座	教授	(副研究科長)	茨木 智志	社会系教育連合講座	教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座	教授		志村 喬	社会系教育連合講座	教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座	教授		下里 俊行	社会系教育連合講座	教授	
奥村 太一	学校教育方法連合講座	准教授		山縣耕太郎	社会系教育連合講座	教授	
角谷 詩織	学校教育方法連合講座	准教授		畔上 直樹	社会系教育連合講座	准教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座	教授		小島 伸之	社会系教育連合講座	准教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座	教授		吉田 昌幸	社会系教育連合講座	准教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座	教授		天野 和孝	自然系教育連合講座	教授	
宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座	教授		小林 辰至	自然系教育連合講座	教授	
村中 智彦	学校教育臨床連合講座	准教授		高津戸 秀	自然系教育連合講座	教授	
池田 吉史	学校教育臨床連合講座	助教		濤崎 智佳	自然系教育連合講座	教授	
岩崎 浩	先端課題実践開発連合講座	教授		中川 仁	自然系教育連合講座	教授	
木村 吉彦	先端課題実践開発連合講座	教授		中村 雅彦	自然系教育連合講座	教授	
桐生 徹	先端課題実践開発連合講座	教授		松本 健吾	自然系教育連合講座	教授	
西川 純	先端課題実践開発連合講座	教授		小川 佳宏	自然系教育連合講座	准教授	

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
斎藤 敏夫	自然系教育連合講座	准教授	
宮川 健	自然系教育連合講座	准教授	
後藤 丹	芸術系教育連合講座	教授	
時得 紀子	芸術系教育連合講座	教授	
平野 俊介	芸術系教育連合講座	教授	
松本 健義	芸術系教育連合講座	教授	
伊藤 将和	芸術系教育連合講座	准教授	
尾崎 祐司	芸術系教育連合講座	准教授	
玉村 恭	芸術系教育連合講座	准教授	
松尾 大介	芸術系教育連合講座	准教授	
市川 真澄	生活・健康系教育連合講座	教授	
周東 和好	生活・健康系教育連合講座	教授	
土田 了輔	生活・健康系教育連合講座	教授	
光永伸一郎	生活・健康系教育連合講座	教授	
山崎 貞登	生活・健康系教育連合講座	教授	
黎 子椰	生活・健康系教育連合講座	教授	
東原 貴志	生活・健康系教育連合講座	准教授	
松浦 亮太	生活・健康系教育連合講座	准教授	

以上68名

企画・実施部門等の構成員名簿

平成29年4月1日現在

No.	名称	室長等氏名	室員等氏名	事務担当	備考
1	情報戦略室	小 埜 裕 二	大 前 敦 巳 杉 浦 英 樹 中 野 博 幸 松 井 千 鶴 子 志 村 喬 光 永 伸 一 郎 城 間 祥 子 小 島 伸 之 谷 友 和 平 野 忠 高 島 純 一 高 野 晃 宏	経営企画課	
2	知的財産本部	小 埜 裕 二	山 縣 耕 太 郎 黎 子 椰 大 森 康 正 岡 崎 明 弘 瀧 本 一 幸	研究連携課	
3	地域連携推進室	梅 野 正 信	直 原 幹 五 百 川 裕 石 野 正 彦 早 川 裕 隆 水 落 芳 明 山 縣 耕 太 郎 光 永 伸 一 郎 古 閑 晶 子 辻 野 けんま 桐 山 敦 史 齊 藤 昭 文	研究連携課	
4	総合学生支援室	直 原 幹	林 泰 成 上 野 正 人 土 田 了 輔 上 野 光 博 細 谷 敏 明 岡 崎 明 弘 伊 藤 孝 之	学生支援課	

一般通報事項

○役員会

■第111回役員会

期 日 平成29年3月23日（木）

議 題

- 1 平成28年度学内補正予算
- 2 平成29年度学内予算
- 3 平成29年度年度計画
- 4 国立大学法人上越教育大学特別顧問に関する要項の制定
- 5 職員育児休業規程及び職員介護休業規程の一部改正
- 6 キャンパスマスタープラン2017
- 7 インフラ長寿命化計画（行動計画）

■第112回役員会

期 日 平成29年4月3日（月）

議 題

- 1 学長の職務を代理する者の指名
- 2 役員会等の議長の職務を代理する者の指名

○経営協議会

■第54回経営協議会

期 日 平成29年3月23日（木）

議 題

- 1 役員の退職手当に係る業績勘案率
- 2 平成28年度学内補正予算
- 3 平成29年度年度計画（経営に関する部分）
- 4 平成29年度学内予算
- 5 平成29年度に係る自己点検・評価実施計画
- 6 国立大学法人上越教育大学特別顧問に関する要項の制定
- 7 キャンパスマスタープラン2017
- 8 インフラ長寿命化計画（行動計画）

○教育研究評議会

■第198回教育研究評議会

期 日 平成29年3月8日（水）

議 題

- 1 教員人事
- 2 大学教員人材評価実施要項の一部改正
- 3 学校現場での指導経験を持つ大学教員の割合を向上するための基本方針の策定
- 4 国立大学法人上越教育大学特別顧問に関する要項の制定
- 5 経営協議会学外委員の選考
- 6 大学改革推進委員会の設置
- 7 上越教育大学若手教員のための在外研究支援要項の制定
- 8 キャンパスマスタープラン2017
- 9 インフラ長寿命化計画（行動計画）

■第199回教育研究評議会

期 日 平成29年3月21日（火）

議 題

- 1 平成29年度年度計画（教育研究に関する部分）
- 2 平成29年度に係る自己点検・評価実施計画
- 3 教員人事
- 4 学校現場での指導経験を持つ大学教員の割合を向上するための基本方針の策定
- 5 大学教員学校現場研修計画の策定
- 6 年俸制・任期制を活用した大学教員を採用するための基本方針の策定
- 7 教育研究評議会及び教授会に置かれる委員会委員の委嘱

■第200回教育研究評議会

期 日 平成29年4月3日（月）

議 題

- 1 副学長の選考
- 2 教員人事
- 3 教員選考委員会委員の変更
- 4 学長選考会議委員及び同予備委員の選出
- 5 十日町市との協定

■第201回教育研究評議会

期 日 平成29年4月19日（水）

議 題

- 1 教員人事

■第202回教育研究評議会

期 日 平成29年 4月26日 (水)

議 題

- 1 教員人事
- 2 「21世紀を生き抜くための能力+ α 」の定義

○教授会

■第223回教授会

期 日 平成29年 3月 6日 (月)

議 題

- 1 平成29年度学部一般入試(前期日程)合格者の判定
- 2 平成28年度学部卒業判定
- 3 平成28年度大学院修了判定
- 4 教員人事

■第224回教授会

期 日 平成29年 3月14日 (火)

議 題

- 1 平成29年度大学院入試(後期募集)合格者の判定
- 2 平成29年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定
- 3 平成29年度長期履修学生の判定
- 4 平成29年度教職大学院教育経営コース1年制プログラム履修者の判定

■第225回教授会

期 日 平成29年 3月21日 (火)

議 題

- 1 平成29年度学部一般入試(後期日程)合格者の判定
- 2 平成29年度学部一般入試(後期日程)追加合格者の決定
- 3 平成29年度学部欠員補充第2次学生募集
- 4 平成29年度大学院入試(第2次募集)合格者の判定
- 5 平成29年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定
- 6 教員人事

■第226回教授会

期 日 平成29年 4月26日 (水)

議 題

- 1 学生の懲戒に係る再審査請求
- 2 名誉教授の推薦
- 3 教員人事

○平成28年度上越教育大学国際交流のつどい

日頃から本学留学生にご支援いただいている地域の方々と本学教職員等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることを目的として、平成29年3月1日（水）第1食堂において、平成28年度上越教育大学国際交流のつどいを実施した。

上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、上越青年会議所など地域の方々からご出席いただき、本学の国際交流の現状及び留学生の現状と支援について説明した後、留学生の代表がこの1年間の活動について発表し、相互に意見交換を行った。また、フィリピン出身の留学生がフィリピンの紹介をし、母国のダンスを披露する等、懇談会をとおして地域の方々との親睦を深めた。

なお、今年度実施したJ. TEST実用日本語検定試験において特A級（日本語通訳者上級レベル）の成績を収めた留学生の表彰を併せて行った。



○上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式

平成29年3月16日（木）長岡市教育センターを会場に「上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー（CST）認定証授与式」を実施した。

本式典では、CST養成プログラムを受講した新潟県教育委員会派遣の現職教員大学院生8名について、CST養成プログラム修了を認め、CST認定証を授与するとともに、2年間の研修成果の発表を行った。

今後、CST認定者には、新潟県内小・中学校の理科教育における中核的教員としての活躍が期待される。



○退職者永年勤続表彰状授与式

平成29年3月31日付け本学退職者のうち勤続期間が30年以上であって、当該勤続期間のうち本法人在職期間が15年以上である者及び勤続期間が20年以上であって、当該勤続期間のうち本法人在職期間が10年以上であり本学で永年勤続表彰を受けていない者に対して、3月14日（火）大会議室において退職者永年勤続表彰状授与式を実施し、次の被表彰者に表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

佐藤 芳徳	学長
西村 俊夫	理事兼副学長
下西 善三郎	教授（人文・社会教育学系）
松田 慎也	教授（人文・社会教育学系）
我妻 敏博	教授（臨床・健康教育学系）
高石 次郎	教授（芸術・体育教育学系）
田上 隆	事務局次長
平野 秀秋	監査室長

○平成29年度図書館案内ツアー

新入生に、図書館の施設・設備を案内するとともに自動貸出装置、電動書架等の利用方法を説明した。

期 日	平成29年4月11日（火）、4月13日（木）～4月14日（金）
場 所	附属図書館
参加人数	学部新入生15人，大学院新入生31人

○職員の改姓

研究連携課副課長
新氏名 牧 由美子
旧氏名 秋山由美子

○公開講座・免許法認定公開講座

平成 29 年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

「※」を付した講座は、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
はじめての短歌 ～実作短歌入門～	短歌は、万葉集以来、日本人に最も親しまれてきた詩形ですが、いざ作るとなると「難しそう」と感じる人も多いと思います。でも、そんなことはありません。講座では、初回に歌作りの基本的な考え方をお話した後、2回目からは各自が作品を持ち寄り、相互に批評しあうことによって、歌作りの勘どころを学んでいきます。短歌を通じ自己表現の手法を学べば、他の文学作品を鑑賞する上でもきっと新しい視野が開かれることでしょう。	人文・社会 教育学系 松田 慎也 特任教授	5月 9日 (火) 5月16日 (火) 5月23日 (火) 5月30日 (火) 6月 6日 (火) 6月13日 (火) 6月20日 (火) 6月27日 (火) 7月 4日 (火) 7月11日 (火) 全10回	19:00～20:30 (1時間30分) 計15時間	上越教育大 学(山屋敷キ ャンパス) 人文棟2階 213 教室	市民一般 (入門) 10人 最小実施 人数1人
「声」のレッス ン 初夏講座	自分の「声」で表現しませんか？ この講座では、春らしく晴れ晴れとアナウンスの初歩からスタートして、朗読、ナレーション、ラジオドラマなどを体験してもらいます。まったくの初心者の方でも参加OKです。また、読み聞かせ、音読ボランティア、ポエトリーリーディングなどに携わっている方のスキルアップにもお役立てください。なお、「初秋講座」は、この「初夏講座」とは異なった内容で開講します。	人文・社会 教育学系 高本 條治 准教授	5月13日 (土) 5月20日 (土) 5月27日 (土) 6月 3日 (土)	14:15～15:30 (1時間15分) 計5時間	上越市市民 プラザ 音楽スタジオ オ	中学生 高校生 市民一般 (初級) 現職教員 12人 最小実施 人数4人

<p>国民の基礎知識としての政治・社会・憲法—民主主義・立憲主義の基礎を学ぶ—</p>	<p>イギリスのEU 離脱派の国民投票勝利, D. トランプのアメリカ大統領就任など, 世界はグローバリズムとナショナリズムの緊張関係を軸に, 新たな動きを見せています。</p> <p>こうした状況の中で, 国民としての意思決定の前提にはどのような認識的基盤が必要となるのでしょうか。</p> <p>本講座は, まず近現代社会をめぐる思想的考察に関する講義を通じて社会の中における多元的価値の調整という視点を身に着け, それを踏まえた時事的問題に関するフリーディスカッションを交え, 国民としての政治に関する基盤的教養を養うことを目標とします。</p>	<p>人文・社会 教育学系 小島 伸之 准教授</p>	<p>7月15日(土) 7月22日(土)</p> <p>全2回</p>	<p>13:30～ 16:10 (2時間30分 /休憩10分)</p> <p>計5時間</p>	<p>上越教育大学(山屋敷キャンパス)</p> <p>人文棟1階 107 教室</p>	<p>高校生 市民一般 (中級) 現職教員 10人</p> <p>最小実施 人数1人</p>
---	--	---	---	---	---	--

講座名	講座概要	講師	実施計画	開設時間	実施場所	定員
楽しいボール運動	小学生のための運動教室です。体育の授業で取り扱われるゲーム(ボールゲーム、鬼遊び)、ボール運動(ゴール型、ネット型、ベースボール型)を中心に行います。易しいゲームや簡易化されたゲームの実践を通して、「ボール操作」の技能や「ボールを持たないときの動き」を身に付けます。また、体づくり運動や走・跳の運動遊びの実践を通して、スポーツの基礎となる「動きづくり」を行います。	芸術・体育 教育学系 榊原 潔 准教授	7月26日(水) 7月28日(金) 7月30日(日) 8月17日(木) 8月21日(月) 8月23日(水) 全6回	9:00~10:30 (1時間30分) 計9時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 体育館	小学生 40人 最小実施 人数8人
小型ロボットを用いたプログラミング入門講座	ライントレースを基本とした小型ロボットを用いてプログラミングの基本を学びましょう。この小型ロボットは、自分で書いたラインの上に命令シールを貼ることで色々な動きをします。また、コンピュータを使ってプログラミングも可能です。小学校のプログラミング教育でも使われています。まったくプログラミングの経験が無い初心者でも大丈夫です。	自然・生活 教育学系 大森 康正 准教授	7月28日(金) 全1回	13:30~16:30 (3時間) 計3時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 教育情報訓練室1	小学生 (4~6年生) 中学生 10人 最小実施 人数3人
木琴をつくらう	木材には軽くて強い性質のほか、音をよく伝える性質があります。そのため、木材を利用したさまざまな楽器がつくられています。この講座では、木材の性質を学び、のこぎりで音板の長さを調節し、絵の具で音板をデザインし、世界に一つだけの木琴をつくれます。	自然・生活 教育学系 東原 貴志 准教授	7月31日(月) 8月1日(火) 全2回	9:30~11:30 (2時間) 計4時間	上越教育大学(山屋敷キャンパス) 第2講義棟 003 共用講義演習室	小学生 (3~6年生) 20人 最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講師	実施計画	開設時間	実施場所	定員
Raspberry Pi を用いて IoT 家電を動かそ う	LED スタンドなどの家電を工 作して、Raspberry Pi という手 のひらサイズの小型コンピュ ータを使い制御しましょう。LED ス タンド等は、ピンポン球、紙コッ プ等を使って工作します。工作し た LED スタンド等を Raspberry Pi と接続してScratch を使いプ ログラムでON/OFF などを行いま す。最後に、タブレットをリモコ ンにして LED スタンドを制御し ます。電気回路の知識やプログラ ミング経験は無くても大丈夫で す。	自然・生活 教育学系 大森 康正 准教授	8月4日(金) 全1回	13:30～16:30 (3時間) 計3時間	上越教育大 学(山屋敷キ ャンパス) 教育情報訓 練室2	小学生 (4～6年 生) 中学生 10人 最小実施 人数3人
LEGO EV3 を用 いたプログラ ミング入門講 座	LEGO MindStormEV3 を用いて 自律型ロボットカーを組み立て ます。組み立てたロボットを使い プログラミングすることで、迷路 探索ロボット、サッカーロボット や自動運転カーなどを作りまし ょう。このロボットは、小学校や 中学校などのプログラミング教 育でも使われています。まったく プログラミングの経験が無い初 心者でも大丈夫です。	自然・生活 教育学系 大森 康正 准教授	8月18日(金) 全1回	13:00～16:30 (3.5時間) 計3.5時間	上越教育大 学(山屋敷キ ャンパス) 教育情報訓 練室1	小学生 (5～6年 生) 中学生 10人 最小実施 人数3人
木彫を楽しむ	日本では、太古から木に親しむ 文化を育み、木を用いて様々な造 形を試みてきました。自然の一部 である木と対話しながら、コツコ ツと刻み、新しい命ある形を産み 出していく楽しさは、他には得難 い喜びです。 木彫は素材の扱い、刃物の手入 れなどの技術が必要ですが、本講 座では、基礎的な内容を身につけ ながら、木彫を楽しんでいきま す。	芸術・体育 教育学系 松尾 大介 准教授	8月26日(土) 8月27日(日) 全2回	9:00～12:00 13:00～16:00 (6時間) 計12時間	上越教育大 学(山屋敷キ ャンパス) 美術棟1階 106 金彫室	中学生 高校生 市民一般 (入門) 現職教員 6人 最小実施 人数3人

講座名	講座概要	講師	実施計画	開設時間	実施場所	定員
「声」のレッスン 初秋講座	自分の「声」で創作しませんか？ この講座では、秋らしくしみじみと朗読やナレーションの喜びにひたりながら、群読、朗読劇、対話劇などの「声」の作品創作に挑戦してもらいます。演劇的手法も随所に取り入れる予定なので、舞台演劇や映像ドラマに興味がある方の参加も大歓迎です。なお、この「初秋講座」は、「初夏講座」を受講していなくても受講することができます。	人文・社会 教育学系 高本 條 治 准教授	8月26日(土) 9月2日(土) 9月9日(土) 9月16日(土) 全5回	14:15～15:30 (1時間15分) 計5時間	上越市市民 プラザ 音楽スタジオ オ	中学生 高校生 市民一般 (初級) 現職教員 12人 最小実施 人数4人
はじめての整数論	素数が無限に多く存在することは、与えられた素数のリストの中には書かれていない素数があることを示すことによって証明されます。それでは与えられた自然数が素数かどうかを効率よく判定するにはどうしたらよいでしょうか。本講座では素数の判定法を中心に整数の基本的な性質と様々な問題への応用について、具体的な計算を通して解説します。	自然・生活 教育学系 中川 仁 教授	9月1日(金) 9月8日(金) 9月15日(金) 9月22日(金) 9月29日(金) 全5回	19:00～21:00 (2時間) 計10時間	上越教育大 学(山屋敷キ ャンパス) 講義棟2階 201教室	高校生 市民一般 (中級) 10人 最小実施 人数2人
日英語比較を通して読み解く近現代の日本	日本の近現代を読み解くカギの一つは日本語と英語、そして両者の隔たりです。本講座では、日英語比較という観点から第二次世界大戦終結時の日米間の交渉と日本国憲法の制定過程を考察し、平和問題について検討します。具体的には、日英語の違いが戦争終結にどう関わったのか、日本国憲法とその英語訳はどう異なるのか、またなぜ異なるのか、といった問題を取り上げる予定です。なお、受講者の英語力は特に問いません。	人文・社会 教育学系 野地 美幸 准教授	9月1日(金) 10月6日(金) 全2回	19:00～20:30 (1時間30分) 計3時間	上越教育大 学山屋敷キ ャンパス 人文棟3階 305教室	市民一般 (初級) 現職教員 10人 最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講師	実施計画	開設時間	実施場所	定員
歩いて知る、高田城下町の成り立ちと地形の関係	高田平野の中央に位置する高田城下町の地形は、一見、とても平坦に思えます。しかし、詳しく見てみると微妙な凸凹があることに気がつきます。高田城は、この地形をうまく利用して守りを固めています。また、高田城下町は、地形を考慮して、うまく水害を避けられるようにつくられています。本講座では、実際に高田城下町を歩いて地形を観察しながら、江戸時代の人々の知恵と工夫を知るとともに、上越地域の自然について学びます。	人文・社会 教育学系 山縣耕太郎 教授	10月8日(日) (雨天時:10月 15日(日)) 全1回	13:00~16:00 (3時間) 計3時間	高田城下町	小学生 中学生 高校生 市民一般 (入門) 現職教員 20人 最小実施 人数3人
遺伝の仕組み	カエルの子はカエルと言いますが、それは当たり前のこと、別に不思議に思われないかもしれませんが、でも、当たり前のことがどうして起こるのか、その仕組みである遺伝現象について学んでみませんか。中学校で学ぶメンデルの遺伝の法則から、親から子に伝わる遺伝子の本体「DNA」の性質と働きまで、簡単な実験や、最近の関係事例紹介(DNA鑑定、PCR検査等)も行って平易に解説します。	学校教育 学系 五百川 裕 教授	10月10日(火) 10月17日(火) 10月24日(火) 10月31日(火) 11月7日(火) 11月14日(火) 全6回	18:00~20:00 (2時間) 計12時間	上越教育大 学(山屋敷キ ャンパス) 自然棟4階 植物分類系 統実験室	高校生 市民一般 (初級) 現職教員 5人 最小実施 人数2人
和楽器に触れてみよう	様々な種類がある和楽器。実際に触れて音を鳴らし、響きと音色を味わってみませんか? 毎回一種類ずつ、楽器を手に取り、簡単な曲を演奏することを目指します。箏、三味線、横笛、鼓を取り上げる予定です。	芸術・体育 教育学系 玉村 恭 准教授	10月25日(水) 11月8日(水) 11月22日(水) 12月6日(水) 全4回	18:30~20:00 (1時間30分) 計6時間	上越教育大 学(山屋敷キ ャンパス) 音楽棟4階 401教室	中学生 高校生 市民一般 (入門・初 級) 現職教員 8人 最小実施 人数2人

講座名	講座概要	講 師	実施計画	開設時間	実施場所	定 員
※ 理科野外観察 指導実習B 森の楽校	実習の場を森とし、森に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、森における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教授	8月8日(火) 8月9日(水) 2日間	9:00～17:00	志賀高原(長野県下高井郡山ノ内町)	市民一般 (初級～中級) 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習C 川の楽校	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教授	8月19日(土) 8月20日(日) 2日間	9:00～17:00	正善寺川	市民一般 (初級～中級) 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習E 身近な植物	身近に生育する植物の分類、形態、生態についての観察指導のポイントを、校庭や路傍、里山の雑木林や湿地を観察場所とした実習を通して学びます。名前を知らなくとも植物の野外観察はできることを体験し、野外観察指導実践を阻むバリアーの低減をめざします。	自然・生活 教育学系 谷 友和 講師	8月26日(土) 8月27日(日) 2日間	9:00～17:00	上越教育大学(山屋敷キャンパス)及び近隣の山野	市民一般 (初級～中級) 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施計画	開設時間	実施場所	定員
※ 理科野外観察 指導実習F 化石を読む	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められています。本実習では、地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討します。	自然・生活 教育学系 天野 和孝 教授	8月22日(火) 8月23日(水) 2日間	9:00～17:00	愛の風～滝 寺, 金谷山, 平山～儀明, 高住～西横 山	市民一般 (初級～ 中級) 現職教員 10人
※ 理科野外観察 指導実習I 星の一日	1泊2日の日程で星の観測実習を行います。小学校3年, 4年, 6年の理科及び中学校理科第2分野の天文単元に出てくる, 太陽, 月, 星座の日周運動及び星の観測の指導に適した季節, 場所, 方法等について, 実際に観測しながら学びます。	自然・生活 教育学系 濤崎 智佳 教授	10月8日(日) 10月9日(月) 2日間	9:00～17:00	星のふるさと館(新潟県 上越市清里 区)	市民一般 (初級～ 中級) 現職教員 10人

○海外渡航

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
1	准教授	藤谷 元子	オーストラリア	平成28年度「海外（実践）フィールドスタディ」参加学生の指導及び視察のため	平成29年3月4日～ 平成29年3月12日	外国出張
2	教授	北條 礼子	台湾	平成28年度「短期海外研修プログラム（台湾：国立嘉義大学）」の引率のため	平成29年3月6日～ 平成29年3月11日	外国出張
3	教授	松崎 邦守	台湾	平成28年度「短期海外研修プログラム（台湾：国立嘉義大学）」の引率のため	平成29年3月6日～ 平成29年3月11日	外国出張
4	講師	河野麻沙美	バンドン	授業研究，及びヒアリング	平成29年3月6日～ 平成29年3月11日	外国出張
5	講師	野澤 有希	香港	香港のカリキュラム改革におけるカリキュラム開発と校内開発組織の実態を解明するためには、前回、校長の改善の意思決定を中心に研究を行った。今回は二つの小学校のカリキュラム開発主任にインタビューを実施し分析を行う予定である。	平成29年3月6日～ 平成29年3月16日	外国出張
6	教授	梅野 正信	台湾	第4回連合研究科教授会出席及び植民地被統治民衆子弟生徒のアジア認識に関する聞き取り調査及び研究打合せのため	平成29年3月10日～ 平成29年3月13日	外国出張
7	教授	大前 敦巳	フランス	科研計画に基づくパリ地域圏における大学拡張過程に関する資料収集および教育優先政策に関する研究報告のため	平成29年3月19日～ 平成29年3月26日	外国出張
8	特任講師	ブライアン・アイヴァン・バーナード	イギリス	現地調査及び現地での資料収集（英語教材として使われる英語圏の環境における実際の英語会話の録音）のため、イギリスのロンドン大学キングズカレッジのDr. Simon Coffey講師と異文化的相互行為データの収集と分析に関する研究打合せを行い、ロンドン市内、ケント州、サッセクス州での代表的特定場面の数種類に直接参加し、データ収集を行う	平成29年3月20日～ 平成29年4月4日	海外研修
9	教授	釜田 聡	台湾	東アジアの学校教育研究の一環で、嘉義市で実施されている学びの共同体の実態調査及び研究交流	平成29年3月22日～ 平成29年3月25日	外国出張
10	講師	河野麻沙美	アメリカ	学習科学，及び関連領域における教育実践及び教育プログラムに関するヒアリング調査	平成29年3月22日～ 平成29年3月31日	外国出張
11	教授	下里 俊行	アメリカ	社会科の内容構成に関わる資料調査	平成29年3月23日～ 平成29年3月28日	外国出張
12	教授	五十嵐透子	アメリカ	・David Epstonワークショップ受講 ・The Couple Conference参加，LGBT関連情報収集	平成29年3月26日～ 平成29年4月4日	外国出張
13	教授	時得 紀子	オーストラリア スイス	モーツアルテウム大学で開催される欧州音楽教育学会に参加する他、ジュネーブ音楽院等の機関で創造的音楽学習に係わる授業参観と資料収集を行う。	平成29年4月14日～ 平成29年5月4日	外国出張

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
14	副学長	林 泰成	中国	アジア太平洋道徳教育学会に参加するため	平成29年3月22日～ 平成29年3月31日	外国出張
15	准教授	辻野けんま	デンマーク	国際教師教育学会2017年デンマーク大会に参加し、研究発表を行うとともに、研究交流を図るため	平成29年3月23日～ 平成29年3月28日	外国出張
16	准教授	河野麻沙美	アメリカ	AERA (Amerivan Educational Research Association ; アメリカ教育学会) の年会への参加	平成29年3月26日～ 平成29年4月4日	外国出張

関係資料

平成29年度上越教育大学学校教育学部入学試験の状況

()内は女子で内数

区分	推薦入試 (募集人員 50人)				一般入試 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別入試 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	1	1			(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1					(1) 2	(1) 2	(1) 1	(1) 1
青森県	(2) 2	(2) 2			(1) 1	(1) 1							(3) 3	(3) 3		
岩手県	1	1	1	1	2								3	1	1	1
宮城県					(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
秋田県	(1) 1	(1) 1			(1) 1	(1) 1							(2) 2	(2) 2		
山形県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 4	(2) 4	(1) 1	(1) 1					(3) 5	(3) 5	(2) 2	(2) 2
福島県	(4) 4	(4) 4	(1) 1	(1) 1	(14) 20	(7) 10	(5) 7	(4) 6					(18) 24	(11) 14	(6) 8	(5) 7
茨城県	(1) 2	(1) 2			(5) 9	(3) 4	(2) 3	(1) 2					(6) 11	(4) 6	(2) 3	(1) 2
栃木県	(4) 7	(3) 5	1	1	(8) 23	(4) 10	(3) 8	(3) 8					(12) 30	(7) 15	(3) 9	(3) 9
群馬県	(5) 14	(5) 13	(3) 4	(3) 4	(16) 46	(8) 25	(3) 10	(3) 10					(21) 60	(13) 38	(6) 14	(6) 14
埼玉県					(1) 5	2	2	2					(1) 5	2	2	2
千葉県					(1) 4	2							(1) 4	2		
東京都	(2) 2	(2) 2			(4) 9	(4) 8	(1) 2	(1) 2					(6) 11	(6) 10	(1) 2	(1) 2
神奈川県					1								1			
新潟県	(26) 40	(24) 38	(12) 13	(12) 13	(93) 174	(48) 90	(8) 21	(7) 20					(119) 214	(72) 128	(20) 34	(19) 33
富山県	(7) 11	(7) 11	(3) 4	(3) 4	(36) 46	(18) 23	(5) 9	(4) 8					(43) 57	(25) 34	(8) 13	(7) 12
石川県	(7) 16	(7) 16	(2) 6	(2) 6	(37) 63	(22) 35	(11) 22	(11) 22					(44) 79	(29) 51	(13) 28	(13) 28
福井県	(3) 4	(3) 4	(3) 4	(3) 4	(15) 23	(2) 8	(1) 6	(1) 6					(18) 27	(5) 12	(4) 10	(4) 10
山梨県	1	1			(2) 5	1							(2) 6	2		
長野県	(22) 39	(21) 38	(7) 12	(7) 12	(48) 110	(29) 63	(12) 25	(12) 24					(70) 149	(50) 101	(19) 37	(19) 36
岐阜県	(1) 2	(1) 2			(3) 10	(2) 9	(1) 5	3					(4) 12	(3) 11	(1) 5	3
静岡県	2	1	1	1	(8) 19	(5) 7	(2) 2	(2) 2					(8) 21	(5) 8	(2) 3	(2) 3
愛知県	(1) 2	(1) 2			(5) 15	(1) 7	4	3					(6) 17	(2) 9	4	3
三重県																
滋賀県																
京都府					1	1							1	1		
大阪府																
兵庫県																
奈良県					(1) 1	(1) 1							(1) 1	(1) 1		
和歌山県																
鳥取県																
島根県					1								1			
岡山県																
広島県																
山口県																
徳島県	2	2	1	1	1								3	2	1	1
香川県																
愛媛県																
高知県																
福岡県																
佐賀県																
長崎県																
熊本県																
大分県	1	1	1	1									1	1	1	1
宮崎県																
鹿児島県																
沖縄県	(1) 3	2											(1) 3	2		
その他																
計	(88) 158	(83) 150	(32) 50	(32) 50	(303) 596	(160) 314	(56) 128	(51) 120					(391) 754	(243) 464	(88) 178	(83) 170
		応募者/合格者 3.2倍	男 36.0%	女 64.0%		応募者/合格者 4.7倍	男 57.5%	女 42.5%					応募者/合格者 4.2倍	男 48.8%	女 51.2%	

平成29年度上越教育大学大学院学校教育研究科入学試験の状況

■ 課程・専攻・コース別

課程	専攻・コース	前期募集 (試験日:28.8.25)					中期募集 (試験日:28.11.26)					後期募集 (試験日:29.3.3)					第2次募集 (試験日:29.3.18)					合計				
		募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学定員	応募者	受験者	合格者	入学者
修士課程	学校教育専攻	94	88	87	77	67	47	46	44	39	36	26	22	19	13	11	若干人	1	1	1	1	116	157	151	130	115
	グローバル・ICT・学習研究コース	26	(5)18	(5)18	(5)18	(5)17	16	(3)13	(3)12	(3)12	(3)11	5	(1)4	(1)4	(1)4	(1)4	若干人					[34]	(9)35	(9)34	(9)34	(9)32
	道徳・生徒指導コース	9	(1)13	(1)13	(1)13	(1)11	3	8	8	8	8	若干人	3	3	2	2						[12]	(1)24	(1)24	(1)23	(1)21
	教育連携コース	17	(1)9	(1)9	(1)9	(1)8	13	(1)6	(1)6	5	4	11	7	6	5	4	若干人	1	1	1	1	[22]	(2)23	(2)22	(1)20	(1)17
	臨床心理学コース	18	(5)33	(5)32	(4)22	(1)19	若干人	4	3			若干人	5	3								[18]	(5)42	(5)38	(4)22	(1)19
	幼年教育コース	5	1	1	1		4	4	4	3	3	5	(1)2	(1)2	(1)1	(1)1	若干人					[5]	(1)7	(1)7	(1)5	(1)4
	特別支援教育コース	19	(4)14	(4)14	(4)14	(4)12	11	11	11	11	10	5	1	1	1		若干人					[25]	(4)26	(4)26	(4)26	(4)22
	教科・領域教育専攻	101	(12)60	(12)59	(12)57	(12)50	67	(1)31	(1)28	(1)27	(1)25	52	19	18	19	16	24	2	2	1	1	124	(13)112	(13)107	(13)104	(13)92
	言語系教育実践コース	20	(4)18	(4)18	(4)18	(4)15	7	(1)7	(1)6	(1)7	(1)7	5	3	2	3	2	若干人	2	2	1	1	[25]	(5)30	(5)28	(5)29	(5)25
	社会系教育実践コース	17	(2)9	(2)9	(2)9	(2)7	12	4	4	3	3	11	1	1	1	1	10					[21]	(2)14	(2)14	(2)13	(2)11
	自然系教育実践コース	21	(2)11	(2)10	(2)9	(2)7	16	8	7	6	5	13	3	3	3	3	9					[25]	(2)22	(2)20	(2)18	(2)15
	芸術系教育実践コース	21	10	10	10	10	15	5	5	5	5	12	6	6	6	6	若干人					[25]	(4)21	(4)21	(4)21	(4)21
生活・健康系教育実践コース	22	(4)12	(4)12	(4)11	(4)11	17	7	6	6	5	11	6	6	6	4	5					[28]	(4)25	(4)24	(4)23	(4)20	
小計	195	(28)148	(28)146	(27)134	(23)117	114	(5)77	(5)72	(4)66	(4)61	78	(2)41	(2)37	(2)32	(2)27	24	3	3	2	2	240	(35)269	(35)258	(33)234	(29)207	
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	45	(16)28	(16)28	(16)28	(16)24	46	(6)30	(6)28	(6)28	(6)27	27	(5)10	(5)10	(5)10	(4)10	8					60	(27)68	(27)66	(27)66	(26)61
	教育臨床コース	30	(12)24	(12)24	(12)24	(12)20	30	(2)26	(2)24	(2)24	(2)23	15	(1)6	(1)6	(1)6	6	若干人					[40]	(15)56	(15)54	(15)54	(14)49
	教育経営コース	15	(4)①	(4)①	(4)①	(4)①	16	(4)④	(4)④	(4)④	(4)④	12	(4)③	(4)③	(4)③	(4)③	4					[20]	(12)⑧	(12)⑧	(12)⑧	(12)⑧
	小計	45	(16)28	(16)28	(16)28	(16)24	46	(6)30	(6)28	(6)28	(6)27	27	(5)10	(5)10	(5)10	(4)10	8					60	(27)68	(27)66	(27)66	(26)61
合計	240	(44)176	(44)174	(43)162	(39)141	160	(11)107	(11)100	(10)94	(10)88	105	(7)51	(7)47	(7)42	(6)37	32	3	3	2	2	300	(62)337	(62)324	(60)300	(55)268	

※1 入学定員欄の[]内は、標準学生数を示す。
 2 ()内の数字は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。
 3 教育経営コースの○数字は、1年制プログラム受講申請者を示し内数である。
 4 前期募集・中期募集・後期募集の応募者数及び受験者数は、第1志望の人数を示している。

■ 都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集				第2次募集				合計																			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者																
北海道	1	1	1	1	1	1	1	1									2	2	2	2																
青森県																																				
岩手県	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1					5	5	5	3																
宮城県	1	1	1	1													1	1	1	1																
秋田県																																				
山形県	1	1	1	1	1	1	1	1									2	2	2	2																
福島県	(2)	2	(2)	2	(2)	2	(2)	2									(2)	2	(2)	2	(2)	2														
茨城県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					3	3	3	2																
栃木県					3	3	3	2									3	3	3	2																
群馬県	(1)	7	(1)	7	6	4	(2)	5	(2)	4	(2)	4	(2)	4	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1														
埼玉県	12	12	12	8	8	7	6	6									20	19	18	14																
千葉県	(1)	5	(1)	5	(1)	3	(1)	2	3	2	2	2	2	2	1	1	(1)	10	(1)	9	(1)	6	(1)	5												
東京都	(1)	38	(1)	37	(1)	35	(1)	30	(1)	22	(1)	20	19	17	(1)	6	(1)	5	(1)	5	4					(3)	66	(3)	62	(2)	59	(1)	51			
神奈川県	6	6	6	5	2	2	2	2	2	5	4	3	2				13	12	11	9																
新潟県	(34)	51	(34)	51	(34)	50	(31)	50	(7)	26	(7)	24	(7)	23	(7)	22	(4)	9	(4)	8	(4)	8	(4)	8	1	1			(45)	87	(45)	84	(45)	81	(42)	80
富山県	4	4	3	2	4	4	4	4									8	8	7	6																
石川県	9	9	9	8	4	4	4	3	4	4	4	4					17	17	17	15																
福井県									1	1	1						1	1	1																	
山梨県					2	2	2	2									2	2	2	2																
長野県	(3)	18	(3)	17	(3)	13	(2)	12	10	10	8	8	3	3	3	3	(3)	31	(3)	30	(3)	24	(2)	23												
岐阜県	1	1															1	1																		
静岡県	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)	1	3	3	2	2																
愛知県	(1)	4	(1)	4	(1)	4	(1)	3					1	1	1	1	(1)	5	(1)	5	(1)	5	(1)	4												
三重県	1	1	1	1	1	1	1	1									2	2	2	1																
滋賀県																																				
京都府	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2					5	5	5	5																
大阪府	1	1	1		2	2	2	2	1	1	1	1					4	4	4	3																
兵庫県	1	1	1		1	1	1	1									2	2	2	1																
奈良県									(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)	1												
和歌山県																																				
鳥取県																																				
島根県	1	1	1	1													1	1	1	1																
岡山県																																				
広島県	1	1	1														1	1	1																	
山口県					1	1	1	1									1	1	1	1																
徳島県																																				
香川県																																				
愛媛県																																				
高知県																																				
福岡県					2	2	2	2	1	1	1	1					3	3	3	3																
佐賀県																																				
長崎県																																				
熊本県																																				
大分県																																				
宮崎県																																				
鹿児島県																																				
沖縄県	3	3	3	3									1	1	1	1	4	4	4	4																
外国	1	1	1	1	4	4	4	4	8	7	6	6	1	1	1	1	14	13	12	12																
計	(44)	176	(44)	174	(43)	162	(39)	141	(11)	107	(11)	100	(10)	94	(10)	88	(7)	51	(7)	47	(7)	42	(6)	37	3	3	2	2	(62)	337	(62)	324	(60)	300	(55)	268

注)1 ()内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

主要日誌

■大学

月 日	事 項
3月1日 (水)	平成28年度国際交流のつどい 学生表彰式 第14回教務委員会 第11回衛生委員会
3月2日 (木)	平成28年度第2回修了生・卒業生に対する研究助成選考委員会 第6回総合学生支援室会議
3月3日 (金)	平成29年度大学院入試 (後期募集)
3月6日 (月)	第223回教授会 平成28年度第2回上越教育大学C S T養成事業実施委員会 第14回入学試験委員会 全学教職員集会
3月7日 (火)	平成28年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修 (~8日)
3月8日 (水)	第198回教育研究評議会 平成29年度学部一般入試 (前期日程) 合格者発表 第3回学校教育実践研究センター運営委員会
3月9日 (木)	平成28年度留学生スキーのつどい (~10日) 第4回情報戦略室評価部門会議 第5回附属図書館運営委員会 第7回学校ボランティア支援室会議
3月10日 (金)	第1回上越地域における教育課題の解決に向けた研究推進検討会議 第11回大学改革戦略会議
3月12日 (日)	平成29年度学部一般入試 (後期日程)
3月13日 (月)	第8回学生委員会 第15回入学試験委員会 第15回教務委員会
3月14日 (火)	第224回教授会 平成28年度教員研修留学生修了証書授与式 退職者永年勤続表彰状授与式
3月15日 (水)	第4回地域連携推進室会議 平成28年度ハラスメント防止研修 第7回教育実習委員会
3月16日 (木)	第2回上越教育大学第一種学資金返還免除候補者選考委員会 第6回国際交流推進センター運営委員会 平成28年度上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー (C S T) 認定証授与式 第2回大学教員学校現場研修委員会
3月17日 (金)	平成28年度学位記授与式 平成28年度卒業証書・学位記授与式 学生表彰式
3月18日 (土)	平成29年度大学院入試 (後期募集) 合格者発表
3月21日 (火)	平成29年度大学院入試 (第2次学生募集)
3月22日 (水)	第199回教育研究評議会 第225回教授会 第16回入学試験委員会 第4回障害学生支援室会議 平成29年度学部一般入試 (後期日程) 合格者発表 平成29年度大学院入試 (第2次学生募集) 合格者発表 第73回カリキュラム企画運営会議
3月23日 (木)	第111回役員会 第54回経営協議会 第3回ファカルティ・ディベロップメント委員会
3月24日 (金)	平成28年度事務系職員スタッフ・ディベロップメント研修
3月29日 (水)	デジタル工作機器講習会

月 日	事 項
3月29日 (水)	第7回総合学生支援室会議
4月3日 (月)	第112回役員会 第200回教育研究評議会
4月5日 (水)	第1回国立大学法人上越教育大学出版会出版企画委員会 (書面審議, ~7日)
4月6日 (木)	第1回教員免許状更新講習実施委員会 第1回教育実習委員会 平成29年度新任職員研修
4月11日 (火)	平成29年度入学式 平成29年度新入生オリエンテーション (~7日)
4月12日 (水)	平成29年度図書館案内ツアー (13日~14日) 情報セキュリティ講演会 新入生ノートパソコン準備講習会 (~21日の水及び金曜日)
4月14日 (金)	第1回教育実習協力校(園)会議 第1回衛生委員会 第1回国立大学法人上越教育大学出版会運営会議 (書面審議, ~19日)
4月17日 (月)	第1回学校ボランティア支援室会議
4月19日 (水)	第1回辰野千壽教育賞実行委員会 第201回教育研究評議会 ロイロノート・スクール講習会
4月20日 (木)	第1回入学試験委員会 第1回大学改革推進委員会 平成29年度ボランティア体験連絡会
4月21日 (金)	第1回情報戦略室評価部門会議 第1回施設安全・環境委員会 第1回教務委員会
4月24日 (月)	平成29年度新入生合宿研修 (~22日)
4月25日 (火)	第1回国際交流推進センター運営委員会
4月26日 (水)	第1回学校教育実践研究センター運営委員会 第202回教育研究評議会 第226回教授会
4月27日 (木)	第1回学生委員会 第1回連合大学院運営会議 第1回障害学生支援室会議 第1回配分予算検討委員会
4月28日 (金)	第43回情報・広報委員会 第74回カリキュラム企画運営会議

■附属幼稚園

月 日	事 項
3月15日 (水)	第23回修了証書授与式
3月17日 (金)	第3学期終業式
3月27日 (月)	離任式
4月1日 (土)	開園記念日
4月6日 (木)	一日入園
4月7日 (金)	新任式 第1学期始業式
4月10日 (月)	第26回入園式
4月11日 (火)	預かり保育開始
4月17日 (月)	やま組バス遠足
4月19日 (水)	P T A・後援会総会

■附属小学校

月 日	事 項
3月2日 (木)	第2回学校評議員会
3月10日 (金)	安全の日
3月16日 (木)	第36回卒業証書授与式
3月17日 (金)	第3学期終業式
3月27日 (月)	離任式
4月7日 (金)	入学式
4月10日 (月)	安全の日
	発育測定
4月11日 (火)	内科検診
4月13日 (木)	視力検査
4月18日 (火)	全国学力・学習状況調査6年(国語・算数)
4月20日 (木)	視力検査
4月24日 (月)	内科検診
4月26日 (水)	避難訓練
4月27日 (木)	第1回研究協力者会兼第1回運営指導委員会

■附属中学校

月 日	事 項
3月1日 (水)	第2回学校評議員会
3月11日 (土)	第36回卒業式
3月13日 (月)	2年修学旅行(～17日)
3月23日 (木)	3学期終業式
3月27日 (月)	離任式
4月1日 (土)	開校記念日
4月7日 (金)	新任式
	1学期始業式
	第37回入学式
4月11日 (火)	観桜会おもてなしプロジェクト(～12日)
4月18日 (火)	全国学力・学習状況調査
4月24日 (月)	第1回避難訓練



上越教育大学学報

第 140 号 平成 29 年 5 月 10 日発行

上越教育大学総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町 1 番地

電話 025-521-3214